

(平成30年度事業対象)

熊取町教育委員会



## 凡例

◇本文中の（ ）内以示す回数及び参加者人数などの表記は年度内での実績とした。

◇本文中の\*の用語説明は、「資料編 用語説明」に掲載した。

◇記述に当たり、次の名称について略称を用いた。

大阪観光大学	観光大学
大阪体育大学	大体大
関西医療大学	医療大学
京都大学複合原子力科学研究所	京大研究所
熊取町教育委員会	町教委
熊取町立全小学校、中学校	全小・中学校
熊取町立中央小学校	中央小
熊取町立北小学校	北小
熊取町立西小学校	西小
熊取町立南小学校	南小
熊取町立東小学校	東小
熊取町立熊取中学校	熊中
熊取町立熊取北中学校	北中
熊取町立熊取南中学校	南中
民生委員児童委員協議会	民児協

# 目 次

## I. はじめに

熊取町における教育の目標.....	1
熊取町教育委員会活動の点検・評価概要 .....	2
施策の体系 .....	3

## II. 施策の取組状況

新規・拡充の取組 .....	4
【学校教育】	
(1) 小学校の普通教室等に空調設備を設置 .....	5
(2) 学校施設のトイレの洋式化整備 .....	6
(3) 校務用（教職員用）パソコンの追加配備を実施 .....	8
主な取組 .....	9
【学校教育】	
1. 基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と学力の向上	
① 小学校英語活動推進事業 .....	10
② 外国青年英語指導助手招致事業 .....	10
③ 学校図書館司書の配置 .....	11
④ 学習支援ボランティア事業 .....	12
⑤ インターンシップ .....	12
2. 教職員の資質・能力の向上	
① 校内研修 .....	14
② 初任者研修 .....	14
③ 10年経験者研修 .....	15
④ 中堅教員自主研修 .....	15
3. 生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性の育成	
① 熊取町人権教育研究協議会への支援 .....	17
② 熊取町在日外国人教育研究協議会への支援 .....	17
③ 人権作品集発行 .....	18
④ 支援教育担当者会 .....	19
⑤ 介助員配置 .....	19
4. 社会の一員としての自覚と規範意識の醸成	
① 児童相談事業 .....	20
② スクールカウンセラー配置事業 .....	20
③ スクールソーシャルワーカー活用事業 .....	21
5. 児童生徒の安全確保	
① 学校防犯システム .....	22
② 安全・安心なまちづくり事業 .....	22
③ 大阪府地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 .....	23
④ 危機管理マニュアルの点検・見直し .....	23
6. 教育環境や条件の整備	
① 就学に関する支援 .....	24
② 学校施設整備の充実 .....	25
③ 給食事業の充実 .....	25

【社会教育】

1.生涯学習の推進	
①学習機会の提供.....	27
②学習環境の整備.....	28
③自主活動の支援.....	29
④地域連携の推進.....	29
⑤推進体制の整備.....	32
2.文化・芸術の振興と充実	
①学習機会の提供.....	33
②学習環境の整備.....	34
③自主活動の支援.....	36
④地域連携の推進.....	37
⑤推進体制の整備.....	38
3.生涯スポーツの推進	
①学習機会の提供.....	39
②学習環境の整備.....	40
③自主活動の支援.....	41
④地域連携の推進.....	42
⑤推進体制の整備.....	43
4.図書館サービスの充実	
①学習機会の提供.....	44
②学習環境の整備.....	45
③子どもの読書環境の整備.....	46
④自主活動の支援.....	48
⑤地域連携の推進.....	48
⑥推進体制の整備.....	49

---

**Ⅲ. 教育委員会の組織・活動状況**

---

教育委員会の組織.....	50
教育委員会の活動状況.....	51

---

**資料編 用語説明**

---

.....	56
-------	----

---

**学識経験者の知見の活用**

---

熊取町教育委員会活動の点検及び評価（平成30年度事業対象）に対する意見書.....	59
-------------------------------------------	----

---

## I. はじめに

---

### 熊取町における教育の目標

○「熊取の学びはどうあるべきか」「熊取の子どもをどのように育むか」など、将来を見据えた教育のあり方が問われるなか、自立した人として、理想を実現しようとする高い志や意欲をもって、主体的に学びに向かい、自分の個性や能力を伸ばし、望む分野で積極的に挑戦し人生を切り拓いていく子どもを育てること。

○「住みたい 住んでよかった ともにつくる “やすらぎ”と “ほほえみ”のまち」をまちの将来像に策定した熊取町第4次総合計画（平成30年～令和9年）の「たくましく生きる力を持つ子どもが育つまちづくり」の理念を実現すべく、どのような時代にあっても、力強く、“凛として、そして、自立した一人の人間”として、心豊かにたくましく生き抜くことのできる人材の育成に取り組むこと。

## 熊取町教育委員会活動の点検・評価概要

### ➤ 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、熊取町教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことで効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進することを目的としています。

### ➤ 点検・評価の対象

本町における教育、学術及び文化の振興のための施策に関する基本的な計画である「熊取町教育大綱（平成27年6月策定）」の施策に基づき、熊取町教育委員会が熊取町の教育行政が目指すべき将来像の実現のために具体的取組みを定めた「平成30年度熊取町教育方針」の取組み及び教育委員会に属する主要な事務事業のうち、教育委員会が主体的に取り組むものを中心に、その執行状況等を点検・評価の対象としています。

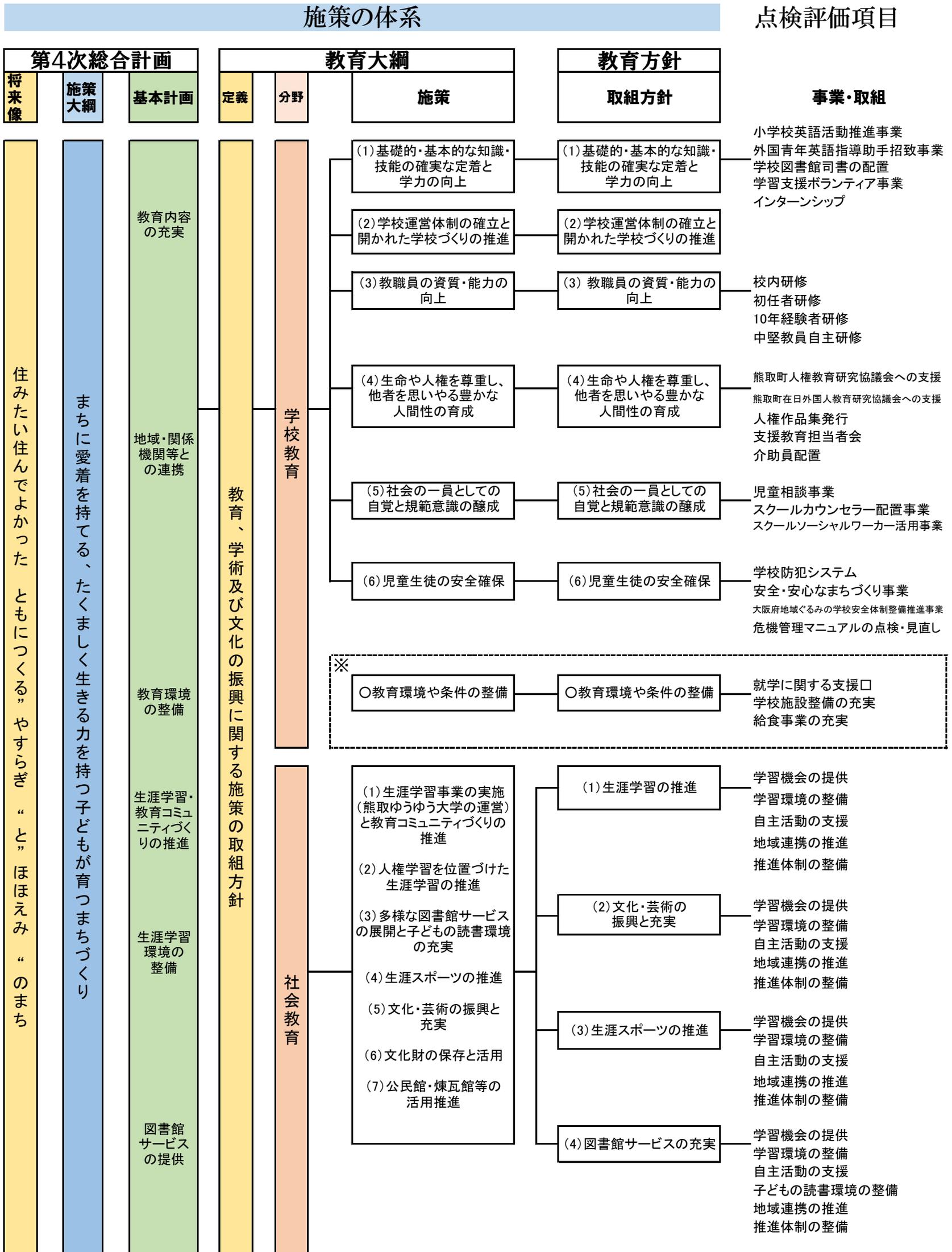
### ➤ 学識経験者の知見活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、点検・評価の実施及び報告書の作成に当たり、熊取町評価委員会委員からご指導、ご助言をいただきました。

- ・大野 廣介氏（元熊取町立学校長）
- ・幸野 信寿氏（熊取町スポーツ推進委員協議会副会長）

### ➤ 報告書の構成

本報告書は、平成30年度に新規・拡充した取組み、教育方針・教育行政の主な取組み、及び主な事業の点検・評価、教育委員会の活動状況で構成しています。



※点線内は教育大綱、教育方針に具体の記述はないが、総合計画に基づき点検・評価の対象としています。



## 新規・拡充の取組（学校教育）

### (1) 小学校の普通教室等に空調設備を設置

担当部局：学校教育課

#### ◆ 取組概要

一年を通じて児童生徒が安全で快適な学校生活を送り、学習に集中できる環境を整えるため、国の交付金を活用し、全小学校の普通教室及び特別教室、職員室等に空調設備の設置を行った。

#### ◆ 取組結果

○小学校5校の整備内容

施設名	普通教室	特別教室	職員室等	合計
中央小学校	24	6	3	33
西小学校	18	8	2	28
南小学校	20	5	3	28
北小学校	24	7	3	34
東小学校	27	5	3	35
全校	113	31	14	158

#### ◆ 今後の課題・方向性

小学校5校の空調設備整備により、全小中学校への空調整備が完了した。これに伴い、今後、整備効果などの検証を行い、適正な運用を促す。

#### ◆ 決算額（単位：千円）

事業名	H30
小学校維持管理事業（臨時）設計委託料	7,560
小学校維持管理事業（臨時）監理委託料	1,404
小学校維持管理事業（臨時）維持修繕工事費	248,502

## 新規・拡充の取組（学校教育）

### (2) 学校施設のトイレの洋式化整備

担当部局：学校教育課

#### ◆ 取組概要

各小中学校の老朽化したトイレについて、国の交付金を活用して、洋式化整備を行い、快適な学習環境の整備を行う。

#### ◆ 取組結果

○中央小西校舎の整備内容

現状								
	男子		女子		多目的		全体	
	和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式
西校舎 1F	3	1	9	0	0	0	12	1
西校舎 2F	2	1	9	0	0	0	11	1
西校舎 3F	2	1	4	3	0	0	6	4
全体	7	3	22	3	0	0	29	6

洋式化率 17.14%

改修後								
	男子		女子		多目的		全体	
	和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式
西校舎 1F	1	1	1	4	0	1	2	6
西校舎 2F	1	1	1	4	0	0	2	5
西校舎 3F	1	1	1	4	0	0	2	5
全体	3	3	3	12	0	1	6	16

洋式化率 72.73%

#### ◆ 今後の課題・方向性

小中学校のトイレについて、国の交付金等、財源確保に努め、早期に洋式化整備を完了する。

◇ 決算額（単位：千円）

事業名	H30
小学校維持管理事業（臨時）設計委託料	2,257
小学校維持管理事業（臨時）維持修繕工事費	23,502

## 新規・拡充の取組（学校教育）

### (3) 校務用（教職員用）パソコンの追加配備を実施

担当部局：学校教育課

#### ◆ 取組概要

教職員が校務に使用するパソコンについては、教職員数に対し約50%の整備率に留まっているため、平成30年度の学校ICT整備の方針に基づいて、1人1台の整備に向けて計画的に増設していく。

#### ◆ 取組結果

平成30年度中に増設を行った結果、前年度末は約50%の整備率であったものが、平成30年度末には約75%の整備となった。

#### ◆ 今後の課題・方向性

令和元年度においては、引き続き増設を実施し、年度末において教職員数に対し100%の整備を目指す。またその他の学校ICT機器の整備についても、計画的な導入・更新を進めていく。

校務用（教職員用）パソコン配備予定数（単位：台）

	中央小	西小	南小	北小	東小	熊中	熊北中	熊南中	合計
H30年度末配備数	24	19	18	25	24	27	21	27	185
R1年度配備予定数	8	6	6	7	7	7	5	6	52
計（全対象数）	32	25	24	32	31	34	26	33	237

#### ◆ 決算額（単位：千円）

事業名	整備台数	決算額
小学校運営事業（臨時）	40台	2,704
中学校運営事業（臨時）	33台	3,167

## ●●●● 主な取組 ●●●●

### ● 学校教育

#### 1. 基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と学力の向上

- ① 小学校英語活動推進事業
- ② 外国青年英語指導助手招致事業
- ③ 学校図書館司書の配置
- ④ 学習支援ボランティア事業
- ⑤ インターンシップ

#### 2. 教職員の資質・能力の向上

- ① 校内研修
- ② 初任者研修
- ③ 10年経験者研修
- ④ 中堅教員自主研修

#### 3. 生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性の育成

- ① 熊取町人権教育研究協議会への支援
- ② 熊取町在日外国人教育研究協議会への支援
- ③ 人権作品集発行
- ④ 支援教育担当者会
- ⑤ 介助員配置

#### 4. 社会の一員としての自覚と規範意識の醸成

- ① 児童相談事業
- ② スクールカウンセラー配置事業
- ③ スクールソーシャルワーカー活用事業

#### 5. 児童生徒の安全確保

- ① 学校防犯システム
- ② 安全・安心なまちづくり事業
- ③ 大阪府地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
- ④ 危機管理マニュアルの点検・見直し

#### 6. 教育環境や条件の整備

- ① 就学に関する支援
- ② 学校施設整備の充実
- ③ 給食事業の充実

### ● 社会教育

#### 1. 生涯学習の推進

- ① 学習機会の提供
- ② 学習環境の整備
- ③ 自主活動の支援
- ④ 地域連携の推進
- ⑤ 推進体制の整備

#### 2. 文化・芸術の振興と充実

- ① 学習機会の提供
- ② 学習環境の整備
- ③ 自主活動の支援
- ④ 地域連携の推進
- ⑤ 推進体制の整備

#### 3. 生涯スポーツの推進

- ① 学習機会の提供
- ② 学習環境の整備
- ③ 自主活動の支援
- ④ 地域連携の推進
- ⑤ 推進体制の整備

#### 4. 図書館サービスの充実

- ① 学習機会の提供
- ② 学習環境の整備
- ③ 子どもの読書環境の整備
- ④ 自主活動の支援
- ⑤ 地域連携の推進
- ⑥ 推進体制の整備

## 1. 基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と学力の向上

### 教育方針目標

学習指導要領等を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図るとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。

また、個に応じた教育を一層推進し、児童生徒が成就感、達成感を味わい、自尊感情を高めることを通して、豊かな感性や情操を涵養し、一人ひとりの個性を伸ばすことができるよう教育方法を工夫する。

### ①小学校英語活動推進事業

#### ■ 取組概要

小学校英語教育の充実に向けて、外国人英語指導助手（ALT）の通訳兼英語指導助手として日本人指導助手を各小学校に配置するとともに、小学校教員の英語指導力向上のため、年間3回の研修会を実施した。

#### ■ 取組結果

- 日本人英語助手を配置することで、小学校担任とALTがうまく意思疎通でき、授業をスムーズに行うことができた。
- 各小学校に対して、大学教授を招聘した研修会（3回実施）への参加を義務づけることで、今後の英語教育の方向性や授業のあり方について学ぶことができ、小学校教員の指導力向上につながった。

#### ■ 今後の課題・方向性

今後も、研修会等を実施し、2020年度の教科化に向けて、小学校教員の指導力向上をめざす。

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
小学校英語教育推進事業	840	733	737

### ②外国青年英語指導助手招致事業

#### ■ 取組概要

児童生徒に生きた英語や外国文化に触れる機会の充実を図り、児童生徒のコミュニケーション能力の育成および英語力向上をめざすため、外国人英語指導助手（ALT）を2学期から1名増員し、6名（小学校：3名、中学校：3名）とし、各小学校には週3日、各中学校には週5日配置した。

また、ALTの指導力向上のため、毎月ALT会議を開催するとともに、夏季休業中には、ALTが企画運営したくまもり英語村を実施した。

■ 取組結果

- 小学校配置のALTを1名増員することで、児童がALTと英語で触れ合う機会をより多く設けることができた。
- 中学校においては、教員とALTがともに授業を行ったり、授業の半分以上を英語で進めたりしているため、生徒が英語を使おうとしていた。
- くまもり英語村には、小学校1・2年生42名、小学校3・4年生22名が参加し、参加の子どもたちは、英語を使いながら、楽しくゲームに参加していた。実施後のアンケートでは、9割の児童が「また参加したい」「楽しかった」と回答していた。

■ 今後の課題・方向性

児童生徒が英語でやりとりできる力の育成をめざし、公開授業や研修を通して、ALTとの効果的なチームティーチングについて研究を進めていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
外国青年英語指導助手招致事業	17,989	20,086	22,763

③学校図書館司書の配置

■ 取組概要

- 町立全小中学校の学校図書館に、学校図書館司書を引き続き配置した。
- 学校図書館司書等による読み聞かせ活動を行った。
- 学校図書館を利用した調べ学習等において、学校図書館司書を活用して書籍・資料の収集を迅速に行った。

■ 取組結果

- 学校図書館司書配置により、児童生徒が本に触れる機会を安定的に確保し、読書活動の推進に努めることができた。
- 読み聞かせ等の活動を行うことで、本の面白さを知り、読書習慣の醸成を図ることができた。
- 学校図書館司書の専門知識を活用することで、教員と相談しながらより広範囲かつ的確に、調べ学習等に必要な書籍・資料をそろえることができた。

■ 今後の課題・方向性

- 学校図書館司書の安定的・継続的確保
- 司書教諭とのさらなる連携のもと、児童生徒の読書機会を増やすための取組みの計画
- 教員とのさらなる連携のもと、児童生徒の調べ学習の充実

- II. 施策の取組状況 主な取組【学校教育】1. 基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と学力の向上

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
小学校運営事業 図書館司書臨時雇賃金	6,773	6,783	6,707
中学校運営事業 図書館司書臨時雇賃金	2,656	2,944	3,293

### ④ 学習支援ボランティア\*事業

#### ■ 取組概要

- 各小中学校に学習支援ボランティアを派遣し、児童生徒の個に応じたきめ細かな指導・支援を行い、児童生徒の学力向上を図るとともに、地域に開かれた学校づくり、地域の良さを活かした特色ある学校づくりを推進した。
- 町内大学では、学生対象にガイダンスを行い、学生の確保および質の向上に努めた。

#### ■ 取組結果

- 学生対象に事前にガイダンスを行うことで、ボランティアの趣旨を正しく理解した上で、活動を行うことができた。
- 大学生のボランティアのほとんどが教員志望であり、管理職や教職員から良好な評価を得ることができた。
- ボランティアによる授業補助や休憩時間等での関わりが、児童生徒の基礎学力の定着や意欲の向上に効果をあげることができた。

#### ■ 今後の課題・方向性

今後も引き続き、町内大学でのガイダンス等を実施し、人材を確保するとともに、小中学校・ボランティア・大学間を丁寧に繋ぐよう努める。

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
学習支援ボランティア派遣事業	1,085	912	749

### ⑤ インターンシップ\*

#### ■ 取組概要

大阪体育大学教育学部から2年生31名、体育学部から3年生16名を、学校インターンシップ生として各小中学校で受け入れ、学校現場での実習に協力した。

#### ■ 取組結果

インターンシップ終了後に、学習支援ボランティアとして引き続き活動を行う学生が複数人いたため、通年で児童生徒支援に協力してもらうことができた。

#### ■ 今後の課題・方向性

今後も引き続き、大阪体育大学や小中学校の要望等を丁寧に聞き取り、大学と学校の橋渡しとして、インターンシップ受け入れに協力していく。

- Ⅱ.施策の取組状況 主な取組【学校教育】1.基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着と学力の向上
- 

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

## 2. 教職員の資質・能力の向上

### 教育方針目標

教職員としての責務を自覚し、町民の信頼に応えられるよう、児童生徒に敬愛される豊かな人間性を培うとともに、社会の変化に対応できるよう組織的・継続的に教職員研修を実施し、知識・技能や資質・能力などの向上を図る。

### ①校内研修

#### ■ 取組概要

- 校内研修の体制整備等に対する指導・助言を行った。
- 各校の校内研修（23回）において指導・助言を行った。
- 各校の課題に対する研修において、講師謝礼等の支援を行った。
- 校外研修参加に対する支援を行った。

#### ■ 取組結果

- 校内研修の充実、校内研修体制の整備を図ることができた。
- 法律や国・府の動向等をふまえた指導・助言を行うことにより、知識・技能や資質・能力の向上を図ることができた。
- 専門家による校内研修の実施により、各校の課題に対する知識・技能や資質・能力の向上を図ることができた。
- 校外研修で得た知識・技能等を校内研修で広め、知識・技能の習得を図ることができた。

#### ■ 今後の課題・方向性

学校教育目標を達成できるよう、校内研修の持ち方等について、指導・助言を行っていく。

教職員全体の資質・能力の向上を図るよう、引き続き校内研修に対して指導・助言及び講師謝礼等の支援を行っていく。

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
教職員研修事業	819	727	758

### ②初任者研修

#### ■ 取組概要

初任者（8名）及び2年目（11名）の教員に対する研修の企画、実施及び授業等への指導・助言を行った。

- 町主催初任者研修（3回）の実施
- 泉南地区初任者研修（6回）の実施
- 初任者の研究授業（全14回）に対する指導・助言
- 2年目教員社会体験研修（3事業所・各2日間）の実施
- 2年目教員の研究授業（全11回）に対する指導・助言
- 初任者指導教員連絡会（3回）の実施

#### ■ 取組結果

- 研修や研究授業の実施等により、知識・技能の習得を図ることができた。
- 初任者指導教員連絡会により、各校における初任者研修の充実、校内体制の構築を図ることができた。

#### ■ 今後の課題・方向性

今後も引き続き、課題やニーズに合わせて研修内容の充実を図り、初任者等の資質向上を図る。

#### ■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

### ③ 10年経験者研修

#### ■ 取組概要

10年経験者（10名）の教員に対する研修の企画、実施及び授業等への指導・助言を行った。

- 町主催10年経験者研修（3回：内2回は初任者研修と合同開催）の実施
- 10年経験者の研究授業（全9回）に対する指導・助言

#### ■ 取組結果

研修や研究授業の実施等により、ミドルリーダー\*としての資質・能力の向上を図ることができた。

#### ■ 今後の課題・方向性

今後も引き続き、課題やニーズに合わせて研修内容の充実を図り、中堅教員としての資質向上を図る。

#### ■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

### ④ 中堅教員自主研修

#### ■ 取組概要

中堅教員に対して、指導主事等が講師となり、6月に4回シリーズで研修を実施した。内容は、「教育課程\*」「支援教育」「生徒指導」「大阪府教育施策」「管理職の心得」で行い、管理職として備えていくべき知識や考え方を身に付けることを目的としてい

る。小学校教員1名、中学校教員5名が参加した。

■ **取組結果**

●参加者は、中堅教員としての役割を自覚し、学校運営に積極的に関わった。

●参加者のうち1名が翌年首席\*となった。

■ **今後の課題・方向性**

今後も引き続き、中堅教員研修を実施し、管理職確保に努めていく。

■ **決算額（単位：千円）**

予算は伴わない。

### 3. 生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性の育成

#### 教育方針目標

自他の人権を尊重しながら、主体的に行動できる児童生徒を育成するため、各学校の課題や実態に応じた特色ある人権教育を、全校的な体制のもと推進する。

また、道徳教育等の充実を通して、人間尊重の精神と生命及び自然を尊重する精神、自らを律し他人を思いやる心、公共の精神を育み、郷土や国を愛するとともに、国際社会の平和と発展に貢献する態度を養うことなど、豊かな人間性をはぐくむ取組みを進める。

#### ①熊取町人権教育研究協議会への支援

##### 取組概要

- 熊取町人権教育研究協議会に対し補助金を交付した。
- 総会、夏季講演会、報告集会へ参加した。
- 運営委員会（3回）・合同委員会（2回）へ出席し、情報提供、指導・助言を行った。

##### 取組結果

- 全5部会（各9回）で研究を進めながら、組織的な体制のもと人権教育を推進することができた。
- 研修会（3回）、研究授業（3回）を実施し、教職員が主体的に各部会の課題に沿って研究を進めることができた。
- 多くの教職員が各研究団体の研修会や報告集会等へ参加し、教職員の人権教育に関する知識・技能、資質・能力の向上を図ることができた。

##### 今後の課題・方向性

- 引き続き、教職員が主体的に研究を進めるにあたり必要な補助金を予算として確保していく。
- 各校における人権教育の充実につながるよう、情報提供や指導助言を行っていく。

##### 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
熊取町人権教育研究協議会	896	887	852

#### ②熊取町在日外国人教育研究協議会への支援

##### 取組概要

- 熊取町在日外国人教育研究協議会に対し補助金を交付した。
- 総会、講演会へ出席し、情報提供、指導・助言を行った。

●●●Ⅱ.施策の取組状況 主な取組【学校教育】3.生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性の育成

■ 取組結果

- 町内の在日外国人児童生徒等について、現状の把握や課題について共有することができた。
- 教職員が各研究団体の研修会や報告集会等へ参加し、教職員の在日外国人教育に関する知識・技能の習得を図ることができた。

■ 今後の課題・方向性

- 引き続き、教職員が主体的に研究を進めるにあたり、必要な補助金を予算として確保していく。
- 各校における在日外国人教育の充実につながるよう、情報提供や指導助言を行っていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
熊取町在日外国人教育研究協議会交付金	154	154	154

③人権作品集発行

■ 取組概要

- 人権作品集「じんけん」（第43集）を発行し、全児童生徒および教職員に配付
- 人権作品集「じんけん」（第43集）を町議会議員、町職員（部長級以上）へ配付
- 人権作品集「じんけん」（第43集）閲覧用を生涯学習推進課、図書館、駅下にぎわい館へ配架
- 人権作品集「じんけん」（第44集）編集委員会を設置
- 人権作品集編集委員会（5回）における研修の実施、および指導・助言

■ 取組結果

- 人権作品集「じんけん」（第43集）の活用により、各校の人権教育の充実を図ることができた。
- 人権作品集「じんけん」（第43集）の配布・閲覧用の配架により、学校の取組み等を広く情報提供することができた。
- 人権作品集「じんけん」（第44集）の編集にあたり、各校において人権教育についての研究の推進、教職員の意識の向上がみられた。

■ 今後の課題・方向性

新たな人権課題や身近な人権課題への意識の向上をめざし、引き続き、人権作品集「じんけん」を作成・発行し、人権教育の推進を図っていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
教育委員会運営事業 印刷製本費 （人権作品集「じんけん」印刷製本費）	548	573	550

#### ④支援教育担当者会

##### 取組概要

- 支援教育担当者会を6回開催し、各校の取組みの情報共有等を行った。
- きずなシートの作成・活用の仕方、引き継ぎ方について確認を行った。
- 支援が必要な児童生徒について、保育所から小学校へ、小学校から中学校への引き継ぎを行った。
- 支援学級在籍生徒の中学卒業後の進路について研修を行った。

##### 取組結果

- 各校の取組みを知ることで、自校の取組みに活かすことができた。
- きずなシートの作成等について、担当者の共通理解を得ることができた。
- 引継ぎを行うことで、児童生徒へのより適切な支援につなげることができた。
- 小・中の支援学級担当者間で、中学卒業後の進路について情報共有ができた。

##### 今後の課題・方向性

- 経験の浅い担当者への支援・育成をより細やかに行う必要がある。
- これまでの取組みを継続し、教員の専門性を高め、支援学級の授業改善を進める。

##### 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

#### ⑤介助員配置

##### 取組概要

- 介助や支援を必要とする児童生徒に対して、介助員を配置した。

介助員人数（3月末）	H28	H29	H30
小学校	41	35	32
中学校	7	4	5

##### 取組結果

- 教職員と連携しながら、教育現場の様々な場面において個々の児童生徒の個々のニーズに応じて適切な支援を行うことができた。

##### 今後の課題・方向性

- 介助員の継続的確保
- 介助員の児童生徒理解のさらなる促進

##### 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
小学校運営事業 支援教育介助員臨時雇賃金	43,144	39,790	39,893
中学校運営事業 支援教育介助員臨時雇賃金	8,464	4,957	4,645

## 4. 社会の一員としての自覚と規範意識の醸成

### 教育方針目標

ボランティア活動をはじめとする様々な体験活動の充実を図り、望ましい人間関係の形成や、社会生活上のルールや規範の習得などの社会性、社会の基本的なモラルなどの倫理観や規範意識の育成に努める。

また、いじめ、問題行動、不登校などの諸課題に対応するため、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことのできる生徒指導体制や相談体制を充実するとともに、子ども家庭センターや警察など、地域や関係機関との連携などに努める。

### ① 児童相談事業

#### 取組概要

町内の子どもたちの健全育成や親の子育てに関する課題解決のため、子ども及びその保護者の相談に応じ、適切な支援を提供した。

#### 取組結果

町教委に4人の臨床心理士、2人の教育相談コーディネーター\*を配置し、延べ1,154人の相談等を実施した。

#### 今後の課題・方向性

現在、不登校やいじめ、問題行動など様々な課題が山積している。また、保護者の悩みや教職員による子どもの課題に対しての指導方法についても、心理の専門職からのアドバイスが必要なケースが増加している。今後もこれまでと同様に学校、教育委員会、健康福祉部が連携を図り、児童生徒等のSOSの確実な把握など様々な情報を共有し、協働的な取組みを継続する。

#### 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
児童相談事業	2,370	2,379	2,433

### ② スクールカウンセラー配置事業

#### 取組概要

児童生徒の心のケア、保護者等の悩みの相談や教職員のコンサルテーションの中心的な役割を果たす臨床心理士を、スクールカウンセラーとして週1日全中学校に配置した。

#### 取組結果

児童生徒、保護者、教職員合わせて延べ775人の面接等を実施した。

■ 今後の課題・方向性

心理の専門家であるスクールカウンセラーや福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー等が、チームとして児童生徒の課題解決に努められる体制づくりを推進する。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

③スクールソーシャルワーカー活用事業

■ 取組概要

昨今、いじめや不登校、暴力行為等の問題行動、少年非行の低年齢化や小学校における学級崩壊、青少年による命にかかわる重大事案の発生等、児童生徒の抱える課題は多様化、複雑化している。子どもの心身の健康な発達のためには、学校教育のみならず、家庭の教育機能の充実がたいへん重要である。そこでスクールソーシャルワーカーを配置し、課題をもつ児童生徒や家庭、保護者を支援することにより、児童生徒の抱える課題を解決した。

	H28	H29	H30
スクールソーシャルワーカー配置人数（人）	2→3（9月）	3	4

■ 取組結果

児童生徒、保護者、教職員等合わせて延べ 18,047 人の支援等を実施した。

■ 今後の課題・方向性

- 教育委員会、健康福祉部等が日常的かつ機能的に連携し、情報を一元化し、子どもや子育て家庭を支援する体制を推進していく。
- 子どもの育ちや子育てを「面」として捉え、発生予防と早期対応の観点から、出生から 18 歳までの子どもを、行政として総合的かつ継続的に支援できるシステムづくりを推進していく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
スクールソーシャルワーカー活用事業	6,292	7,314	9,745

## 5. 児童生徒の安全確保

### 教育方針目標

保護者や地域の関係団体などの協力を得て、地域と一体となって児童生徒の安全確保のための方策を講じるとともに、学校安全教育を推進し、児童生徒がそれぞれの状況に応じて、危険に適切に対応できる能力を育成する。

### ①学校防犯システム\*

#### ■ 取組概要

全小中学校に、防犯カメラを設置するとともに学校防犯システムを導入している。具体的には、小学校ではICタグを持った児童が校門を通過すると、その記録が学校のパソコン及び希望により保護者の携帯電話等に通知される。中学校においては希望により保護者の携帯電話等に通知される。あわせて、学校から保護者に対して一斉メール配信できるシステムも活用している。

#### ■ 取組結果

メール配信システムにおいて、学校からは、保護者からの子どもの下校に関する問い合わせに対して、即応できると好評であった。

#### ■ 今後の課題・方向性

保護者へのメール配信システム加入を促進し、緊急時等における連絡体制の構築を進める。

#### ■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

### ②安全・安心なまちづくり事業

#### ■ 取組概要

子どもがあらゆる暴力（虐待、いじめ、誘拐、痴漢など）から自分を守るために何ができるかを学ぶCAP（Child Assault Prevention）プログラム\*を、小学4年生を対象に実施した。

#### ■ 取組結果

CAPプログラムを受講した子どもたちからは、良好な感想が得られ、子どもたち自身で、自他の人権を守ろうとする姿勢が育むことができた。

#### ■ 今後の課題・方向性

関係機関と連携しながら、子どもの安全・安心に関する取組みをより充実させていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
安全・安心なまちづくり事業	290	290	290

③大阪府地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

■ 取組概要

学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、学校・家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備した。具体的には警察官 OB をスクールガード・リーダーとして配置し、子どもの安全確保に努めた。

■ 取組結果

全小学校区にスクールガード・リーダーを1名ずつ計5名配置し、日々、学校や関係団体等と情報交換を実施し、子どもたちの安全を確保することができた。

■ 今後の課題・方向性

本町の安全の取組みは、住民の協力のもと、有効に機能している。今後もスクールガード・リーダーをはじめ、子ども見まもり隊や熊取安全パトロール隊、保護者、学校、教育委員会等の協力体制を充実させ、迅速に不審者情報等の共有を行い、児童生徒の事件や事故の未然防止に努めていく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	2,732	2,732	2,732

④危機管理マニュアルの点検・見直し

■ 取組概要

「学校における危機管理マニュアル（熊取町教育委員会作成）」を学校に提示し、各校の危機管理マニュアルの点検・見直しを行うよう指導した。

■ 取組結果

平成30年3月に改訂した「学校における危機管理マニュアル」をもとに、各校においてマニュアルの点検・見直しが行われた。

■ 今後の課題・方向性

必要に応じて「学校における危機管理マニュアル」の改訂を行う。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

## 6. 教育環境や条件の整備

**目標**

熊取町立小・中学校に通う児童生徒が均しく義務教育を受けることができるように援助し、充実した教育活動を存分に展開できるよう快適で十分な安全性、防災性、衛生的な環境を整える。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かで安全・美味しい食事を提供することにより健康の増進を図る。

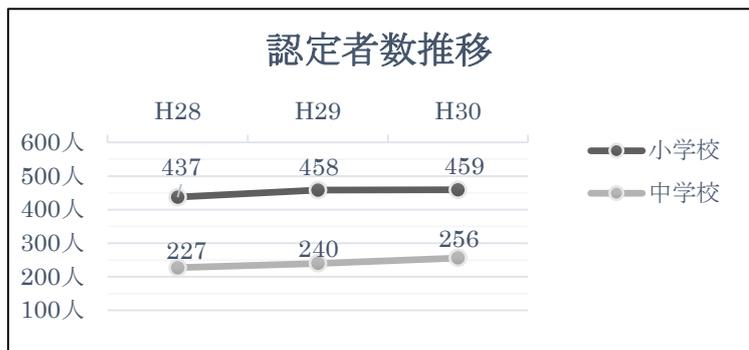
### ① 就学に関する支援

■ **取組概要**

生活保護費受給世帯及びそれに準じる世帯の町立小・中学校に通う児童生徒の学用品費、修学旅行費、学校給食費、校外活動費等の援助費を交付し、児童生徒の保護者に対し経済的支援を行い、ひとしく義務教育を受けることができるようにする。また、平成29年度より翌年4月に入学予定の児童生徒に対し、新入学学用品費の入学前支給を実施している。

■ **取組結果**

●要保護・準要保護児童生徒\*就学援助費を交付することにより町立小中学校に通う児童生徒がひとしく教育を受けられるよう寄与している。新入学学用品費の入学前支給の実施により、保護者がより必要とする時期に援助を実施できている。



■ **今後の課題・方向性**

厳しい財政状況のなか、現在の認定基準の見直しをする必要があるが、就学援助制度の周知をさらに図り、援助が必要な保護者に行き届くようにする。

■ **決算額（単位：千円）**

事業名	H28	H29	H30
小学校就学援助事業	26,669	30,497	29,549
中学校就学援助事業	20,780	28,558	24,920

## ② 学校施設整備の充実

### ■ 取組概要

児童・生徒たちの学習・生活の場である学校施設において、充実した教育活動を展開できるよう、快適で十分な安全性、防災性、衛生的な環境を確保するための施設整備を計画的に行っている。

### ■ 取組結果

#### ● 小学校修繕内容

- ① 南小渡り廊下外壁塗装工事
- ② 北小プール防水工事
- ③ 西小体育館点検用ハシゴ改修工事
- ④ 中央小プールピット内給排水管修繕
- ⑤ 東小給食用リフト修繕
- ⑥ 西小電気設備更新修繕

#### ● 中学校修繕内容

- ① 南中普通教室窓ガラス修繕
- ② 南中受水槽揚水ポンプ等取替修繕
- ③ 熊中南校舎空調室外機取替修繕
- ④ 南中給食用リフト修繕

#### ● 小・中共通

- ① 南小、南中プールろ過装置修繕
- ② 消防用設備修繕
- ③ 西小、南小、北小防火設備修繕

### ■ 今後の課題・方向性

小・中学校のトイレの洋式化、老朽化が進む施設の計画的な改修の検討を進める。

### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
小学校維持管理事業（臨時）維持修繕工事費	1,599	742	12,735
小学校維持管理事業（臨時）修繕費	7,239	9,873	9,642
中学校維持管理事業（臨時）維持修繕工事費	1,979	36,442	2,908
中学校維持管理事業（臨時）修繕費	2,445	7,957	4,994

## ③ 給食事業の充実

### ■ 取組概要

全小・中学校に単独調理場方式の調理場を備え、調理業務の民間委託により運営している。また、栄養バランスのとれた食事を適温で提供することで、成長期にある児童生

徒の心身の発達のため健康の増進、体力の向上等の役割を担いながら、安心・安全な給食の提供を行っている。

■ **取組結果**

- ①西小牛乳保冷庫更新
- ②東小ワンタッチスライサー更新
- ③熊中冷凍冷蔵庫、球根皮むき機更新
- ④北小及び北中の食器の更新

■ **今後の課題・方向性**

老朽化が進む施設の将来的なあり方等の検討を進める。

■ **決算額（単位：千円）**

事業名	H28	H29	H30
小学校給食事業	97,661	96,817	93,904
中学校給食事業	50,226	49,736	48,561

## 1. 生涯学習の推進

### 教育方針目標

町内大学との連携、地域人材の活用等を行いつつ、社会的要請や学習ニーズに応じた講座・学習の機会の提供に努めるとともに、学習成果の発表・活用機会の充実を図る。

学校・家庭と社会教育団体等をはじめとする地域との連携により、学校の教育活動の支援や登下校時の見守り活動等を行い、子どもたちの安全・安心な居場所づくり、青少年の健全育成に努める。

生涯学習関連部局をはじめとする庁内関係部局と各種講座等事業に関して連携を図り、さらなる住民サービスの向上に努める。

### ① 学習機会の提供

#### ■ 取組概要

熊取ゆうゆう大学\*を企画・運営し、住民ニーズや社会的要請等を踏まえながら、様々なテーマを設定した講座等をはじめとする学習機会の提供を行う。

#### ■ 取組結果

●熊取ゆうゆう大学の各楽部（体験楽部・教養楽部・ゆうゆう楽部）において、各種講座を実施し、様々な学習機会の提供を行うことができた。

●熊取町人権協会及び首長部局（人権・女性活躍推進課）と連携し、人権啓発地域映画会や講演会を実施し、人権啓発活動に取り組んだ。

●直近3年間の講座参加者数（単位：人）\*講座名の再編あり。

楽部名	講座名	H28	H29	H30
体験楽部	はつらつ世代講座	325	334	271
	家族ふれ愛講座	345	426	393
	ジュニアチャレンジ講座（大学連携）	223	174	228
教養楽部	親育ちサロン（親学習リーダー養成含む）	73	35	31
	人とゆたかにつながる講座	11	3	11
	IT 講座	257	171	93
	料理講座	221	151	69
	語学講座	176	189	222
	資格取得講座	156	441	253
	教養講座	249	547	424
	子ども向け講座	635	653	495
	公民館体験講座	-	46	18

楽部名	講座名	H28	H29	H30
ゆうゆう 楽部	地域活動入門講座	68	78	87
合 計		3,046	3,248	2,595

●くまとり井戸端セミナー\*の利用実績：33件

●人権啓発地域映画会：実施地区数：8地区・参加者数：129人

●人権講演会：人とひと・ふれ愛の集い 参加者数：180人

男女共同参画講演会・人権学習会 参加者数：80人

#### ■ 今後の課題・方向性

めまぐるしく変化する社会的課題や多様な住民ニーズの把握を進めつつ、それらに対応した講座等の企画・運営に継続して取り組む必要がある。

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
生涯学習推進事業	1,049	789	831
公民館講座事業	1,446	1,429	1,102

## ②学習環境の整備

#### ■ 取組概要

町内の3大学1研究所と連携・協力をすることで、それぞれが有する特色があらわれた学習活動機会を提供する。

#### ■ 取組結果

1大学1研究所と連携し、特色を活かした講座や事業等を実施することができた。

〔大体大と連携〕

●はつらつ世代講座 「大学生とデイキャンプ」 参加者：22人

●ジュニアチャレンジ講座 「ちびっこキャンプ」 参加者：42人

「サマーキャンプ」 参加者：26人

「チャレンジキャンプ」参加者：43人

●地域活動入門講座 「いきいきわくわく健康づくり！！」

（3回の連続講座）

参加者：延べ87人

〔京大研究所と連携〕

●ジュニアチャレンジ講座 「科学実験教室」 参加者：53人

#### ■ 今後の課題・方向性

町内大学の特性やノウハウを活かしながら、さらなる連携を検討し、それぞれ相乗効果が上がるようなイベントになるよう取り組む。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
生涯学習推進事業（再掲）	1,049	789	831

③自主活動の支援

■ 取組概要

- 自主活動を支援するため、個人の学習活動成果とそれを学びたい人々を結びつけることを目的に「くまとり人材バンク制度\*」を運用する。
- 社会教育関係団体が円滑に活動できるよう、補助金による財政的支援等を行う。

■ 取組結果

- 制度の周知を行いつつ、登録者の発表の機会でもある「くまとり人材バンクデー」を開催した。
- くまとり人材バンクデー：平成30年10月13日（土）開催  
8講師による実演に延べ99人が体験・参加
- くまとり人材バンクの利用実績：23件
- こども会をはじめとする各社会教育関係団体に対し、財政的支援を行うとともに、事務局業務の補助等を行った。

■ 今後の課題・方向性

くまとり人材バンクの利用件数が低調に留まっており、今後の利用促進に向けた方策を検討する必要がある。

また、各社会教育団体については、構成員数が減少傾向にあることから、各種事業・活動の見直しを行い、団体活動の活性化を図る必要がある。

■ 決算額（単位：千円）

団体名	H28	H29	H30
こども会育成連絡協議会	540	540	540
ボーイスカウト熊取第1団	56	56	56
小・中学校PTA連絡協議会	108	108	108
青年団	400	400	400
婦人会	468	468	468

④地域連携の推進

■ 取組概要

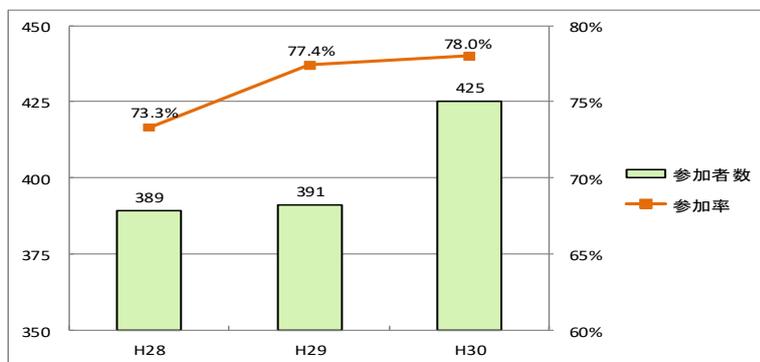
- 町内各地区の青少年指導員から構成される熊取町青少年指導員連絡協議会が実施する、青少年・子どもの健全育成に資する活動を支援する。
- 熊取町青少年問題協議会を開催し、町内の青少年・子どもの健全育成に関する団体間の交流・情報交換等を行う。

- 地域全体で青少年の成長を祝福し、新成人に成人としての自覚や責任感を促すため、成人式を挙げる。
- 地域の各団体やボランティアの協力のもと、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりや学習支援に取り組む。
- 学校・家庭・地域の三者が一体となって、各地域における「教育コミュニティ」（＝くまとり地域教育協議会）を形成し、子どもたちの教育環境の充実や安全確保に取り組む。

### 取組結果

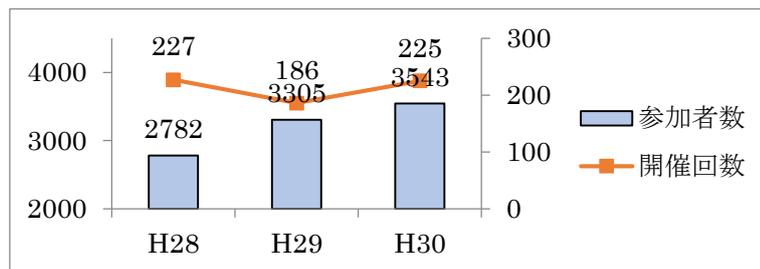
- 熊取町青少年指導員連絡協議会の主な活動
  - ・夏休み期間中のパトロール（計3回、PTA との合同パトロール含む）
  - ・青少年の非行防止等啓発活動（年2回）
  - ・「児童・青少年を考えるつどい」の開催（PTA との共催）  
テーマ「小さなことから習慣化する子育て」 参加者：137人
  - ・「こどもひろば」の実施 参加者：132人
- 平成30年熊取町青少年問題協議会を平成30年7月9日（月）に開催し、情報交換等を行った。
- 平成31年成人式を平成31年1月13日（日）に開催し、新成人425人が参加した。（対象者数：545人・参加率：78.0%）

〔参考〕成人式参加者数等推移（単位：人・%）



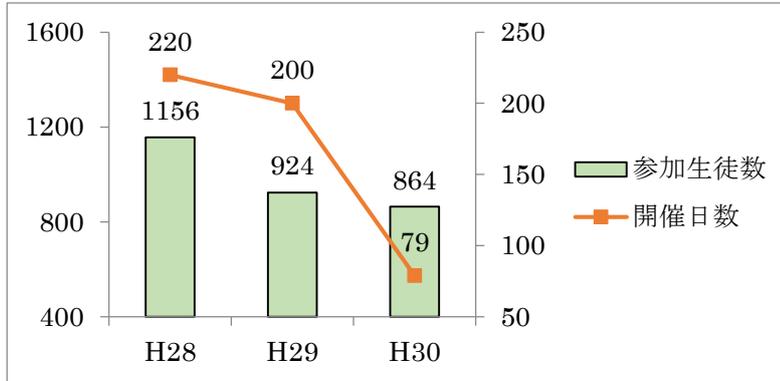
- 地域の各団体等の協力を得て、各小学校区において、放課後の子どもたちが安全・安心にさまざまな体験活動等を行うことができる居場所「くまとり元気広場」（＝放課後子ども教室\*）を実施し、前年度よりも多くの子どもたちに参加いただいた。

〔参考〕「くまとり元気広場」の参加者数等推移（単位：人・回）



- 中学生の放課後の居場所づくりと学習支援を兼ねて、各町立中学校の余裕教室等を活用して「中学校放課後自習室」を開設した。

〔参考〕「中学校放課後自習室」の参加者数等推移（単位：人・日）



- 地域教育協議会において、安全確保の取組みとして、各校区の危険箇所をまとめた「安全マップ」を更新し、登下校の安全を見守るボランティア活動「子ども見まもり隊」を継続して展開した。

#### ■ 今後の課題・方向性

熊取町青少年指導員連絡協議会及び熊取町青少年問題協議会による活発な活動が、青少年・子どもの健全な育成環境の確保に寄与できているところであるが、今後とも団体間の交流や情報交換等を行える機会づくりを工夫・継続していく必要がある。

新成人の参加率は上昇傾向にあるが、成人の年齢の18歳への引き下げ等、社会的背景も踏まえながら、今後の成人式の企画・運営や在り方等を検討していく必要がある。

「くまとり元気広場」については、各団体のプログラム内容の工夫や開催日数の増加もあり、前年度に比べて多くの参加があった。一方、「中学校放課後自習室」については、参加実績からニーズが高いと判断できるテスト前に学校で開催し、その他を煉瓦館に集約して実施したが、参加人数の大幅な減少とはならず、一定のニーズが存在すると考えられる結果となったところである。

今後も、子どもたち（中学生）の居場所としての自習室のニーズも踏まえつつ、実施形態や内容について検討する必要がある。

地域教育協議会については、学校・家庭・地域の三者をつなぐ役割を担うとともに、引き続きさまざまな活動を通じて、地域の住民団体等による学校教育活動への協力体制の推進を図る。

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
青少年指導活動事業	1,042	858	1,016
成人式運営事業	1,079	1,019	975

放課後子ども教室*推進事業	701	641	709
子育て支援放課後自習室事業	2,323	1,839	770
学校支援地域本部事業	1,029	949	897
地域連携推進事業	1,321	247	147

(※)「学校支援地域本部事業」「放課後子ども教室推進事業」

(補助率：国・府それぞれ 1/3)

(※)「子育て支援放課後自習室事業」

⇒ 府補助金「大阪府新子育て支援交付金」を活用（補助率：10/10）

### ⑤推進体制の整備

#### 取組概要

- 社会教育委員会議において、生涯学習推進計画の進捗状況の確認を行うとともに、各施策・事業の効果測定や展開方針の確認を行う。

#### 取組結果

- 生涯学習推進計画に基づいて実施する、個別具体的な事業等を定める実施計画である社会教育事業計画の策定及び事業報告や意見交換を行った。

第1回社会教育委員会議 平成30年7月3日（火）開催

議題：平成30年度社会教育事業計画のとりまとめについて

平成29年度社会教育事業計画の実績報告について

第2回社会教育委員会議 平成31年3月28日（木）開催

議題：平成31年度社会教育事業計画について

#### 今後の課題・方向性

本町における生涯学習をより活発化させるために、定例的な報告等に加えて、今後、本町がめざす生涯学習の在り方等についても議論を進めていく必要がある。

#### 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
社会教育一般事務経費	169	169	164

※社会教育委員会議の運営に係る決算額のみ抜粋

## 2. 文化・芸術の振興と充実

### 教育方針目標

多様化する住民の文化・芸術活動に対応できるよう、地域の歴史資料の収集をはじめ、イベント情報など幅広い情報を収集するとともに、それぞれの活動者に応じたより効果的な情報の提供に努める。

住民が安全に安心して活動できるように施設の適正な維持管理を行うとともに、施設の適正配置を考え、より効率的な施設運営を目指す。また、各施設の特性に応じ、さまざまな学習活動に適した施設の整備に努める。

文化・芸術活動の発表機会の充実やきっかけづくりとなるような事業を実施し、住民の自主活動の支援に取り組むとともに町内大学との連携を深め、その特色とノウハウを活かしたイベント等を実施する。

### ① 学習機会の提供

#### 取組概要

- 煉瓦館や公民館・町民会館などにおいて様々な文化・芸術情報の発信を行うとともに、郷土資料のデジタルアーカイブ化\*事業の令和元年度の運用開始を目指すべく、資料収集を行った。
- 熊取ゆうゆう大学について、学びやすい環境（保育付きや土・日曜開催やインターネット申込）を提供するとともにきっかけづくりとなる体験講座などを実施した。
- 郷土の歴史や文化を後世に伝えることや住民がまちに愛着を持てるような、企画展や講座を開催した。

#### 取組結果

- 行革の一環として予算の減額により、公民館講座の開催について、回数を減少（講座数：5減、延べ回数：47減）させたため、延べ参加人数は前年度比約600人の減少となった。

- 熊取ゆうゆう大学（公民館講座）の参加者数（単位：人）（再掲）

事業名	H28	H29	H30
公民館講座（全体）	2,007	2,198	1,574

- 文振連\*との連携による体験事業 参加者(延べ)数（単位：人）

事業名	H28	H29	H30
子ども囲碁広場	139 (21)	133 (12)	60 (12)
夏休み親子陶芸体験	14	42 (2)	18 (2)
夏休み親子茶道体験	8	12	0
伝承横山おどり講座	96 (6)	102 (10)	94 (7)

※（ ）内の数字は開催回数（ ）がない欄は1回開催

●歴史・文化に関する企画展等の参加者数（単位：人）

事業名	H28	H29	H30
企画展 はまのゆか原画展	—	—	687
藍染体験	128	186	126

※企画展については、平成 28、29 年度ともに実施しているが、参加者数を集計していない。

■ 今後の課題・方向性

- デジタルアーカイブ化事業については令和元年度の早期に運用開始できるよう取組みを進めるとともに、文化・芸術情報の発信の拡充に努める。
- 厳しい財政状況により予算確保が難しい中でも、事業内容の工夫により充実を図られるよう検討していく。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
公民館講座事業費（再掲）	1,446	1,429	1,102

②学習環境の整備

■ 取組概要

- 安全に安心して活動できるように施設の保守点検の実施など適切な維持管理を行った。
- 町民会館分館について、老朽化が進んでいることから平成 30 年 9 月末日をもって廃止し、あらたに教育・子どもセンターへ機能を統合し、住民活動の場の確保に努めた。
- 公民館・町民会館について、耐震改修が必要なことや老朽化が進んでいることから、整備方針の検討を行った。
- 重要な文化財を熊取町指定文化財\*として保存するとともに適切な維持管理について、所有者に対して指導、助言、補助を行うとともに、文化財等を活用した学習機会の提供やレファレンスを行った。
  - ・町内小学校の社会見学（中家住宅、煉瓦館）の受入れ（5 小学校 431 人）
  - ・発掘調査等の実施（発掘調査:10 件、立会調査:13 件、試掘調査:13 件）
  - ・くまとりドキドキ博物館事業への補助金交付（歴史ウォークなど） 200 千円
- 重要文化財中家住宅\*について、平成 30 年 9 月に発生した台風の影響により、表門が倒壊するなどの大きな被害が出たため、一般公開を中止するとともに、文化庁の補助金を得て緊急に災害復旧事業に着手した。

■ 取組結果

- 各施設とも適正な維持管理を行い、安全、安心な活動場所を提供することができた。

●施設利用状況（上段：利用人数 下段：利用率）

施設名	H28	H29	H30
公民館	22,137人 28%	20,566人 27%	22,552人 28%
町民会館（ホール以外）	13,390人 30%	12,045人 29%	12,428人 31%
町民会館（ホールのみ）	31,757人 36%	27,131人 38%	31,676人 38%
町民会館分館	20,209人 28%	18,658人 27%	8,849人 27%
教育・子どもセンター	— —	— —	8,444人 62%
煉瓦館	61,735人 71%	62,749人 70%	57,823人 70%
中家住宅 来館者数 貸出件数	8,874人 45件	7,031人 33件	1,735人 8件

※町民会館分館は9/30まで、教育・子どもセンターは10/1から、中家住宅は9/3までの集計

●熊取町内の指定文化財の件数 ※昨年度より増減なし

種類	国指定	大阪府指定	熊取町指定
建造物	3	0	1
史跡	1	0	1
名勝	0	0	1
天然記念物	0	1	1
考古資料	0	0	2
有形民俗文化財	0	0	3
彫刻	0	0	1
計	4	1	10

■ 今後の課題・方向性

- 公民館・町民会館の整備について、現在検討を行っており、令和元年度中に全庁的な取組みの中で整備方針を決定する予定である。
- 令和2年度までに個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）の策定が求められていることから、早期に策定に取り組む必要がある。
- 重要文化財中家住宅の災害復旧工事については、令和2年4月の一般公開再開に向け適切な管理を行うとともに、その他町指定文化財についても、保護の拡充に努める。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
公民館・町民会館 維持管理費	22,764	21,137	18,459
教育・子どもセンター維持管理費	—	—	6,214
煉瓦館 維持管理費	21,838	19,187	18,263
中家住宅 維持管理費	4,946	4,015	3,317

※維持管理費に正職員の人件費は含んでいない。また公民館と中家住宅の維持管理費には非正規職員の人件費が含まれる。

※公民館・町民会館に分館は含まれているが、平成 30 年 9 月 30 日をもって閉館している。

※教育・子どもセンターの貸館は、平成 30 年 10 月 1 日から開始している。

※中家住宅は、台風 21 号により被災した 9 月 4 日以降、閉館している。

③自主活動の支援

■ 取組概要

- 様々な文化・芸術の鑑賞機会を提供するとともに、住民による文化・芸術活動の動機づけや発表機会を提供する事業を実施した。
- 各種活動団体が自主的に継続して活動していけるよう支援を行った。
  - ・公民館・町民会館、煉瓦館、教育・子どもセンター活動サークル案内の作成、配架
  - ・文振連への支援（公民館使用料の減免）（登録団体数：41 団体）
  - ・煉瓦館コミュニティ団体への支援（煉瓦館使用料の減免）（登録団体数：18 団体）
  - ・コミュニティ備品の活動団体や自治会などへの貸し出し（貸出件数：358 件）

■ 取組結果

- 次のような文化・芸術の鑑賞機会を提供し、住民活動の向上に寄与することができた。また、公民館文化事業の実施にあたっては、一般公募により組織した住民協働企画会議により企画立案、事業実施を行い、住民目線での事業展開を行うことができた。

●文化・芸術鑑賞事業参加者（来場者数）数 （単位：人）

事業名	H28	H29	H30
公民館文化事業	313	377 (2)	251 (2)
ファミリーサマーコンサート	567	400	413
煉瓦館交流ホールコンサート	268 (3)	152 (2)	44
イルミネーションコンサート	180	228	240
中家手づくりコンサート	238 (2)	36	37
中家@ほ～む寄席 ※H30 は煉瓦館で実施	66	64	89
中家文化事業 ※H30 は台風により煉瓦館で実施	63	75	74

※（ ）内の数字は開催回数、（ ）がない欄は 1 回開催

●発表事業への参加者数は、特に煉瓦館交流ホールコンサートについて減少傾向にある。

●発表事業 参加者（出演者）数 （単位：組）

事業名	H28	H29	H30
ファミリーサマーコンサート	13 (15)	14 (15)	13 (15)
町民文化祭（舞台発表）	37(50)	36 (50)	37 (45)
〃 （作品展）	37	40	47
公民館展示ケース貸出	17	23	24
煉瓦館交流ホールコンサート	7 (4)	4 (4)	1 (4)
煉瓦館ギャラリーロード貸出	33	28	32
中家手づくりコンサート	4 (4)	1 (2)	1 (4)

※（ ）内の数字は募集組数

#### ■ 今後の課題・方向性

各活動団体の規模が縮小傾向にあることから、継続して各団体の活性化を図るような取組みを行うとともに、幅広く住民が参加しやすい環境を整える。

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
公民館文化事業費	2,094	2,109	1,922
煉瓦館運営事業費	1,313	1,277	716
中家住宅運営事業費	532	550	500

### ④地域連携の推進

#### ■ 取組概要

- 町民文化祭と町内の3大学1研究所における学園祭等の事業の開催にあたって、相互にチラシへの事業案内の掲載やポスター掲示、熊取駅前自由通路での合同PR活動を行い、各々の事業の活性化に努めた。
- くまとりイルミネーションナイト事業での観光大学吹奏楽部と熊取中学校吹奏楽部による吹奏楽の演奏を行い、イベントを盛り上げた。
- 文振連加盟団体の代表者等が講師を務める公民館体験講座を開催した。

#### ■ 取組結果

- 町民文化祭の開催にあたっては、町内の福祉施設にバザーを出店していただき、にぎわいの創造につなげることができた。
- 各種イベント等の実施にあたり、町内の大学や各種団体との協働実施により、当該団体との連携を深めたほか、団体の活性化にも寄与することができた。

● イベント等参加者（来場者）数 （単位：人）

事業名	H28	H29	H30
町民文化祭来場者数	3,909	3,945	3,786
くまとりイルミネーションナイト	5,820	5,115	4,371
公民館体験講座（4 講座）※H28は5講座	212	281	172

■ 今後の課題・方向性

様々な活動団体との連携による事業実施等の推進により、さらなる地域文化と当該活動団体の活性化に努める。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
町民文化祭実行委員会補助金	1,566	1,574	1,487

⑤ 推進体制の整備

■ 取組概要

- 文化・芸術の発展に努めるため、様々な事業やイベントの実施にあたり、庁内関係部局との連携を行った。
- 職員の専門性、資質向上のため、社会教育部門の職員を対象に煉瓦館で行っている藍染体験事業の講習会を行った。

■ 取組結果

- 町内他部局との連携により、次のような様々な事業、イベントを開催し、施設の利用促進や、にぎわいの創造につなげることができた。
  - ・ くまとりにぎわい観光協会設立記念事業コンサート、そ菜品評会（産業振興課）
  - ・ 耐震セミナー（まちづくり計画課）
  - ・ 環境セミナー、環境フェスティバル（環境課）
  - ・ 緑化フェア、熊取のみどり・花・自然写真展（水とみどり課）
  - ・ カップリングパーティー（熊取町商工会）
  - ・ 消防防火図画展（泉州南消防組合）
  - ・ 民児協活動振興事業ストローコンサート（生活福祉課）
  - ・ 男女共同参画講演会トーク&コンサート、人権ポスター展・パネル展（人権推進課）
  - ・ アートフェスタ泉南（泉南地区高等学校）
  - ・ 吹奏楽コンサート（熊取中学校）
  - ・ ミルデュラ展（政策企画課）

■ 今後の課題・方向性

町内関連部局との連携を強化し、様々な事業・イベント等を開催することで、生涯学習部門で補いきれない事業展開を図り、多種多様な情報発信、文化・芸術の発展に努める。

■ 決算額（単位：千円）

予算は伴わない。

### 3. 生涯スポーツの推進

#### 教育方針目標

住民のニーズに応じたスポーツ教室や各種スポーツイベントの開催、また、スポーツ関係団体の支援、育成、身近でハイレベルな競技や試合を観ることができる大会の招致など、スポーツに親しむ機会及びスポーツへの興味・関心、参加意欲を持つ機会の充実に取り組む。

さらに、町内各大学と連携したイベント等の実施やスポーツ指導者等の確保、養成と資質向上に努める。

#### ① 学習機会の提供

##### 取組概要

- ひまわりドームや学校体育施設（運動場、体育館、武道館）など生涯スポーツの場を広く提供する。
- 医療大学と連携して「健康お悩み相談コーナー」を開設し、スポーツによるケガのリハビリ方法やケガを防ぐトレーニング方法等の知識を広める。

##### 取組結果

- ひまわりドーム利用者数（単位：人）

	H28	H29	H30
個人利用者数	105,228	99,813	96,887
教室受講者数	35,325	33,371	32,935
団体利用者数	98,942	106,957	101,069
合計	239,495	240,140	230,891

- 学校体育施設（運動場、体育館、武道館）利用者数（単位：人）

	H28	H29	H30
小中学校体育館・武道館	61,987	60,484	49,897
小中学校運動場	8,810	6,771	4,781
小学校プール	5,761	5,564	3,954

- 「スポーツリーダーバンク\*」登録者の派遣者数（自治会、こども会、町立3中学校のクラブ活動などの要請による。）（単位：人）

	H28	H29	H30
登録者数	219	224	236
派遣人数	16	13	12

- 町民総合体育大会 17 競技の開催（参加者 1,696 人）
- 「健康お悩み相談コーナー」の開設、健康体操教室の実施

(相談：全 43 回、相談者 117 人 教室：全 23 回、参加者 519 人)

●子どもから大人まで気軽に参加できる「ショートテニス教室」を通じて、スポーツの楽しさを広めるとともに他のスポーツへの参加を促進できた。

●観るスポーツの提供

・「第 14 回フライト・エアロビック選手権大会」、「第 19 回アジャタ関西選手権大会」

・自主活動サークルで活動している方々の成果発表の場で、町内在住の元世界チャンピオンや全日本で活躍する選手によるエキジビションを含む「第 19 回くまとり太極拳フェスティバル」を開催した。

#### ■ 今後の課題・方向性

●スポーツ施設の更なる利用促進に向け、新たな指定管理者とともに連携を図りながら、さらなる各種事業の充実に努める。

●「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進するため、明確な目標を定めるとともに、指導者等の人材の育成を図るなど着実にそのための取組みを進める。

●スポーツを始める機会、健康の保持増進の機会の創出を図る。

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
総合体育館等指定管理委託料	90,895	90,623	90,349
町民総合体育大会開催	2,214	2,248	2,145
小学校プール一般開放	5,854	5,686	4,742

## ② 学習環境の整備

### ■ 取組概要

スポーツ施設の適正な管理運営のため、多岐に渡る各施設の修繕等を行う。

### ■ 取組結果

●各施設修繕内容

①中央公園グラウンド 防球ネット取替修繕

②熊取町立総合体育館消防設備不良箇所機器取替修繕

③熊取町立総合体育館非常用発電装置不良機器取替修繕

④総合体育館天井修繕工事

⑤町民グラウンドテニスコート防風ネット、中央公園テニスコート防風ネット及び八幡池青少年広場防球ネット取替修繕

参考（町民グラウンド等フェンス改修工事【令和元年度へ繰越】）

●利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設及び設備の適切な保守・修繕を行う

た。

■ 今後の課題・方向性

スポーツ施設の状況把握のため、定期的な点検を行っていくことが必要である。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
総合体育館等の修繕	11,432	1,903	7,503

③自主活動の支援

■ 取組概要

- 熊取町体育協会として各種の事業を実施する。
- 熊取町スポーツ少年団（13団）として各種の事業を実施する。
- 日頃より団体と連携を図り、団体の加盟者募集も積極的に行う。

■ 取組結果

- 熊取町体育協会
  - ・町民総合体育大会の開催（17競技・参加者 1,696人）
  - ・スポーツ教室の開催（陸上、ペタンク、サッカー、ノルディック・ウォーク、バドミントン、トランポリン、卓球）
  - ・府総合体育大会泉南地区大会（卓球、ソフトテニス）及び中央大会（バドミントン、ソフトテニス）の運営
  - ・「KIX 泉州国際マラソン」「くまとりロードレース」の運営協力
- 熊取町スポーツ少年団
  - ・結団式及び1日体験会（団員及び指導者 298人、一般参加者 180人）
  - ・「KIX 泉州国際マラソン」「くまとりロードレース」への運営協力
- 各種の取組みに際し綿密な打ち合わせを重ね、各種事業において一定の成果を得た。
- イベントへの運営協力を全団体に求めることにより団体相互の交流や相互扶助を図ることができ、お互いの連帯意識の高揚につなげることができた。

■ 今後の課題・方向性

ニーズに即した的確な指導者等の確保や養成、また、資質向上を図ることが必要である。スポーツ関係団体との連携によるスポーツ指導者の養成や指導対応等を含めた資質向上を図るとともに、スポーツを「ささえる」人材の確保、養成に努める。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
体育協会補助金	1,048	1,048	1,048
スポーツ少年団補助金	160	160	160

#### ④地域連携の推進

##### 取組概要

- 幅広いスポーツ教室を開催し、障がい者やリハビリを勧められている方など、スポーツに取り組む機会を提供する。
- ひまわりドームや学校体育施設の一般開放などにより住民の健康づくりとふれあいの場を提供する。
- 町内各大学と連携した教室等の開催により、住民が主体的に参画するスポーツ環境の整備を促進する。

##### 取組結果

- スポーツ教室参加者数（単位：人）
  - ・指定管理者との連携（教室例）

	H28	H29	H30
太極拳（2教室）	886	689	537
ヨガ（5教室）*H26・H27は3教室	3,890	3,702	3,697
高齢者健康体操（2教室）	1,114	1,259	1,177
フラダンス（1教室）	1,013	952	1,004
障がい者・障がい児水泳（3教室）	575	620	577

- ・大阪体育大学との連携

	H28	H29	H30
ミニバス教室（子ども1コース）	325	223	362
Let's SPORT（小学生対象のスポーツ体験プログラム）	37	15	21

- ・スポーツ推進委員協議会との連携

	H28	H29	H30
ショートテニス	221	234	156

- ・スポーツリーダーバンク登録者を活用した体験会

	H28	H29	H30
太極拳	21	6	-
太極柔力球	26	9	-
ジュニアカンファ	24	-	-
親子カンファ	-	8	-

- 第29回くまとりロードレースの実施
  - ・申込者：クォーターマラソン 356人、3km 648人 計 1,004人
- スポーツに取り組む住民層が幅広くなり、ひまわりドームや学校体育施設の一般開放利用の活性化に繋がった。
- 町内各大学と連携した教室等の開催により、住民が主体的に参画するスポーツ環境の整備に繋がった。

■ 今後の課題・方向性

- 子どもから高齢者まで日頃からスポーツに親しむ機会の確保が必要であり、地域と連携を行う。
- 障がい者や高齢者等、だれもがスポーツに参加できる環境整備に努める。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
太極拳フェスティバル	162	250	482
くまとりロードレース	3,400	3,400	3,400

※太極拳フェスティバルH30：のぼり200本作成含む

⑤推進体制の整備

■ 取組概要

- スポーツイベント等において、庁内関係部局とも連携し、滞りなく事業を実施し、イベントの賑わいをもたらした。

■ 取組結果

- スポーツイベントでの連携実績
  - ・くまとりロードレース
    - （観光大学吹奏楽部演奏協働：みんなと協働課）
    - （長々と散歩：政策企画課）
  - ・町民応援デー（セレッソ大阪：政策企画課、広報公聴課、産業振興課）

■ 今後の課題・方向性

- 庁内関係部局と連携しながら、イベント等の内容充実を図る。

■ 決算額（単位：千円）

- 連携に伴う予算は伴わない。

## 4. 図書館サービスの充実

### 教育方針目標

地域を支える情報拠点として、新鮮で適切な蔵書構成の維持に努めるとともに、誰もが読書に親しめる環境づくりを推進する。また、多様な学習活動機会の提供に努め、住民の自主的な活動を支援する。

子どもの読書活動については、平成27年度策定の「熊取町第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、読書環境を整備する。

### ①学習機会の提供

#### 取組概要

まちの情報拠点として、新鮮で適正な蔵書構成を維持するとともに、熊取町に関するさまざまな資料を収集・整理し、必要な情報を住民に提供する。

#### 取組結果

##### ●資料の購入数・蔵書数

	H28	H29	H30
図書購入数	8,404 冊	8,567 冊	8,223 冊
蔵書数	367,313 冊	368,868 冊	366,151 冊
視聴覚資料購入数	112 点	98 点	100 点
蔵書点数	10,484 点	10,690 点	10,773 点
雑誌購入タイトル数	150 誌	150 誌	145 誌
新聞購入タイトル数	9 紙	9 紙	9 紙

●住民への情報提供や貸出につながるよう館内の特集展示を積極的に企画した。また、2月の書庫見学ツアーは、蔵書特別整理期間前特別企画「一般書庫開放」として、開催時間等を拡大して開催し、多くの参加があった。

	H28	H29	H30
館内特集展示回数	224 回	233 回	258 回
書庫見学ツアー	11 回・64 人	11 回・35 人	10 回・93 人

#### 今後の課題・方向性

- 地域資料を含めた幅広い分野の資料の体系的な収集に取り組む。
- インターネットを通じた情報発信の向上に取り組む。
- 時代に即した機器等の導入や地域資料の情報化を進める。

#### 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
図書館運営事業（図書費、資料等購入費）	13,742	13,664	13,197
図書館運営事業（システム賃借・保守料）	6,620	6,620	6,620

## ②学習環境の整備

### 取組概要

- あらゆる人が居心地よく過ごせるよう環境整備を行うとともに、計画的に施設改修を行う。
- 誰もが読書に親しめるよう町内全域にいきわたる図書館サービスの構築や利用が困難な人に向けた図書館サービスに取り組む。

### 取組結果

#### ●サービス指標

	H28	H29	H30
個人貸出冊(点)数	385,695 冊	373,393 冊	363,387 冊
住民 1 人当たりの貸出数	6.87 冊	6.67 冊	6.57 冊
予約受付件数	25,732 件	26,317 件	25,752 冊
レファレンス件数	7,881 件	8,514 件	7,219 件

- 居心地の良い滞在空間にするため、自習学習ができる「学習スペース」を北側へ、新聞・雑誌等を寛いて読める「ブラウジングコーナー」を南側へ場所を入れ替えた。
- 町内大学との連携においては、資料の相互貸借、大学教員による「旅コーナー」の図書紹介、大学教員による講演会を実施した。
- 点字図書・大活字本\*など障がいに応じたさまざまな形態の資料や障がいへの理解を深めるための本を集めた「りんごの棚」を新設した。
- 高齢者を対象とした行事  
利用の約 3 割を占めるシニア層に向けた行事を充実させ、多くの参加があった。

行事名	H28	H29	H30
シニアコンサート	1 回・74 人	1 回・68 人	1 回・77 人
あたまイキイキ音読教室	6 回・70 人	6 回・77 人	6 回・79 人
健康講座・座談会	1 回・30 人	13 回・280 人	17 回・286 人

- 図書館への来館が困難な方へのサービスとして、駅下にぎわい館での予約受取りサービスや、町内の団体への団体貸出やリサイクル資料の譲与を行い、また、地域への出前講座を行った。間接的に図書館を利用する機会が増えている。

	H28	H29	H30
駅下にぎわい館貸出冊数	4,254 冊	4,360 冊	4,510 冊
団体貸出	54 団体 19,235 冊	59 団体 18,653 冊	61 団体 24,376 冊
リサイクル図書譲与 ※リサイクルブック実行委員会への譲与分は除く	31 団体 1,731 冊	34 団体 2,097 冊	35 団体 2,770 冊
出前講座（井戸端セミナー）	31 回・679 人	38 回・953 人	29 回・588 人

- 中高生に向けた YA サービス\*では、利用促進のために、図書リスト（新着や映像化など）の作成や図書のテーマ展示により PR したほか、町内 4 中学校（大体大浪商中学校を含む）の学校図書館を通して本の POP を募集し、紹介本と一緒に展示した。

■ 今後の課題・方向性

- 利用者のニーズ等を踏まえながら、館内レイアウトを見直したり、見やすい・探しやすい館内サインの工夫をするなど、環境づくりに取り組む。
- 障がい者の利用促進に向けた基礎的な環境整備を計画的に実施していく。
- 図書館に遠い地域の住民や若い世代・現役世代の利用促進策について検討する。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
図書館施設管理事業	26,007	23,961	24,251
図書館運営事業（図書費、資料等購入費）（再掲）	13,742	13,664	13,197

③子どもの読書環境の整備

■ 取組概要

「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、住民団体や関係部局と連携し、生まれる前から切れ目のない子育て支援を通して、子どもの読書環境を整備する。

■ 取組結果

- 子どもの読書活動を支える体制づくり推進のため、住民団体・関係機関との連携会議を開催し、家庭・地域・保育所（園）文庫への団体貸出や子育て支援者向けの絵本講座を実施することで地域の読書活動を支援した。
- 乳幼児期・幼児期における子育て支援事業は、住民団体等と連携しながら、子育ての中で本を活用できるよう、乳幼児とその保護者を対象としたさまざまな事業を開催した。

事業名	H28	H29	H30
ブックスタート*（4か月児）	12回・317人	12回・297人	12回・287人
あかちゃんの時間（0歳児）	11回・313人	10回・245人	9回・140人
親子でリトミック（0歳・1歳・2歳児）	24回・775人	25回・755人	24回・569人
親子であそぼう！（1～2歳児）	6回・134人	4回・67人	4回・55人
3歳6か月児の図書館案内	12回・333人	12回・338人	12回・353人
コンサート（マニエ&マ、列及マ）	4回・162人	3回・124人	4回・189人

- 保育所（園）・認定こども園・幼稚園へ「こぐま便」（年4回本の配達）等の団体貸出を行った。
- 子どもの読書推進関連事業は、本や図書館に親しむよう、子どもを対象としたさまざまな事業を開催した。また、一般財団法人自治総合センターから青少年健全育成

助成事業助成金を取得し、コミュニティ助成事業「みんなでつくろう！音楽で楽しもう！絵本であそぼう！」を開催し、公募スタッフ制作の立体造形物と町内保育所5歳児の絵の展示による「図書館を tupera tupera 美術館にしよう！」、絵本作家 tupera tupera ワークショップ&えほんライブ、人形劇場、リトミックをたのしもう（療育事業や支援学級に通う子どもとその家族対象）を実施することで、多くの参加があった。

事業名	H28	H29	H30
こぐまタイム*・おはなし会*・かみしばいの会	84回・1,224人	79回・1,149人	78回・1,045人
人形劇場	2回・160人	2回・156人	2回・143人
子ども1日図書館員	2回・16人	2回・16人	2回・16人
夏休みクイズラリー	268人	321人	321人
町民文化祭子ども対象事業	3行事・132人	3行事・124人	3行事・92人
熊取文庫連絡協議会主催事業	2行事・169人	2行事・96人	1行事・43人
コミュニティ助成事業	—	—	4行事・511人
その他子ども対象事業	6回・198人	10回・429人	20回・573人

- 学校図書館へ団体貸出（10,497冊）、予約（1,749件）、レファレンス（134件）、学校図書館司書の研修会等の支援を行った。
- 小学生対象応募型事業は、学校を通して募集し、夏休みの図書館利用につながった。

事業名	H28	H29	H30
わたしの好きな本を紹介します	245人	338人	291人
図書館を使った調べる学習コンクール	363人	295人	327人

- 障がいのある子どもへの読書支援として、支援学級や放課後等児童デイサービスへの団体貸出や「くまとり井戸端セミナー」の出前講座を実施した。

#### ■ 今後の課題・方向性

- 子どもたちが生涯にわたって豊かに生きる力を育むための読書活動を推進する。
- 学校図書館支援センターとしての機能の充実を図る。
- 障がいのある子どもの読書環境の整備に努める。

#### ■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
図書館ふれあい事業(子どもの事業関連謝礼金、委託料)	224	253	222
読書活動推進事業(読書通帳除く)	398	408	955

#### ④ 自主活動の支援

##### 取組概要

- 住民団体等との共催・協力による事業やボランティアからの企画提案による事業を実施したり、参加型の事業の開催により個人の活動成果を発表する場を提供している。
- 図書館の施設や備品を活用し、住民の自主的な活動を支援する。

##### 取組結果

- 図書館において、様々な文化事業を開催した。住民等との協働事業については、住民から企画提案のあった健康や医療、終活等をテーマにした講座等を開催した。

	H28	H29	H30
講座・講演会 *一部再掲	3回・128人	16回・452人	22回・451人
コンサート *一部再掲	4回・332人	6回・463人	4回・357人
その他	18回・1,094人	17回・987人	17回・983人

※子育て支援事業・子ども対象事業・書庫見学ツアー・そとみせを除く。

- 図書館の施設を活用し、住民の自主的な学習活動を支援し、会議室・ホール等の利用については、利用団体数及び稼働率が増加した。

事業名	H28	H29	H30
会議室等利用団体数	50団体	53団体	54団体
会議室稼働率	42.9%	43.9%	46.4%

##### 今後の課題・方向性

- 住民の知的関心に応えられるよう、住民・住民団体等と連携しながら、文化事業を開催する。
- 住民活動を活性化するために、活動内容の発信や新たな担い手の発掘など、団体の支援を行う。

##### 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
図書館ふれあい事業（子ども事業除く）	263	238	263

#### ⑤ 地域連携の推進

##### 取組概要

地域活動の拠点の一つとして、各種団体等との連携により事業を実施し、住民の交流の場を設ける。

##### 取組結果

- 住民団体や関連機関等（26団体）との協働により、さまざまな事業等を実施した。
- 「熊取町第4次生涯学習推進計画」策定を記念して、図書館関連団体（60団体）の

活動を紹介する展示を行った。また、これらの団体が交流する談話会を2回開催し（参加人数計 67 人）、活動内容の情報交換や今後の図書館を考えるワークショップ等を行った。

- 図書館の屋外スペースを活用して活動の PR や地域の交流を目的とする「そとみせ」は、ひまわりカフェ（関西医療大学を含むグループ）や熊取ボランティア連絡会によるボランティアフェスティバルなど、合計 4 回開催した（参加人数計 552 人）。

■ 今後の課題・方向性

住民や団体が情報交換する機会の創出や、共通の課題に取り組む団体のネットワークづくりに取り組む。

■ 決算額（単位：千円）

予算を伴わない。

⑥推進体制の整備

■ 取組概要

- 庁内関係部署と連携し、事業等を実施する。
- 司書の専門性向上のため専門的な研修等を実施する。
- 図書館協議会を定期的開催し、図書館運営に関する意見交換を行う。

■ 取組結果

- 子育て支援に関する連携の他、住民への啓発・PR を目的に関係部署と連携した展示を実施した。
- 府等が実施した専門的な研修を受講した他、府立図書館職員の派遣によるレファレンス研修を実施した。
- 図書館協議会に指定管理者制度導入検討の是非を軸とした「これからの熊取町立熊取図書館の管理運営のあり方について（提言）」の検証について諮問した。

■ 今後の課題・方向性

- 関係部局との連携強化や職員のスキルアップ等により、図書館サービスの向上に努める。
- 図書館協議会で図書館が抱える課題についての議論を深め、図書館サービスや業務の改善・向上に活かす。

■ 決算額（単位：千円）

事業名	H28	H29	H30
図書館運営事業（図書館協議会委員報酬）	148	194	194
図書館運営事業（研修旅費）	21	20	27

## Ⅲ. 教育委員会の組織・活動状況

### 教育委員会の組織

➤ **組織**

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関であり、生涯学習、教育、文化、スポーツ等の幅広い施策を展開しています。

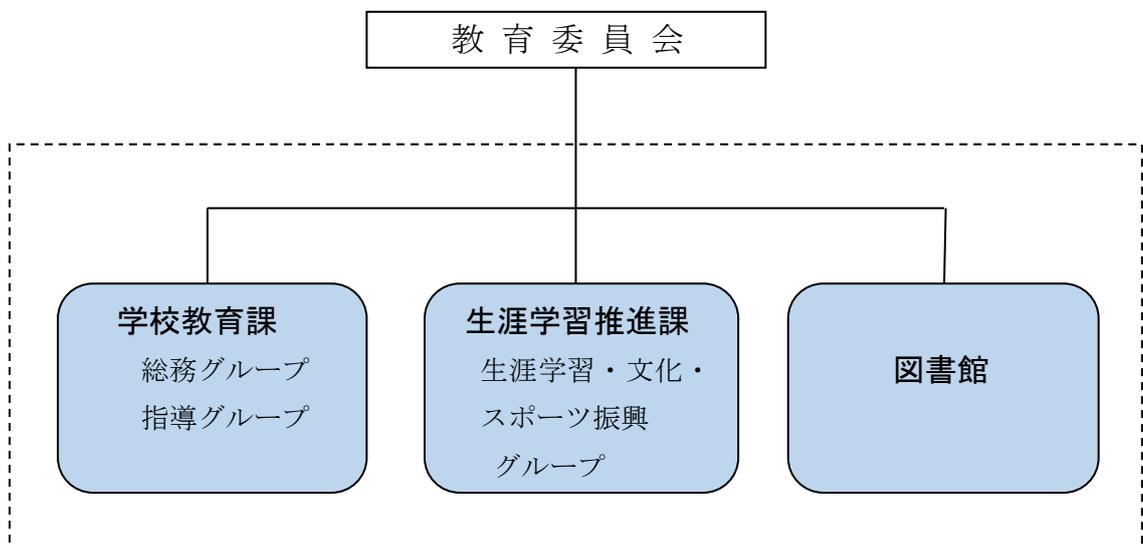
➤ **構成**

教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成されています。教育長は教育行政に関し識見を有する者のうちから、委員は教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、それぞれ議会の同意を得て町長が任命します。

➤ **教育長・教育委員（平成30年度）**

氏名	職務	在任期間
勘六野 朗	教育長	平成28年 4月1日～令和 3年3月31日
梶山 慎一郎	委員(教育長職務代理者)	平成28年 4月1日～令和 元年9月30日
山本 洋子	委員	平成24年10月1日～平成30年9月30日
松井 みゆき	委員	平成28年10月1日～令和 2年9月30日
土屋 裕睦	委員	平成29年10月1日～令和 3年9月30日
鈴木 直子	委員	平成30年10月1日～令和 4年9月30日

➤ **教育委員会事務局組織図**



## 教育委員会の活動状況

### 委員構成

- 4月～9月：梶山委員、山本委員、松井委員、土屋委員
- 9月末：山本委員任期満了
- 10月：鈴木委員新任
- 10月～：梶山委員、松井委員、土屋委員、鈴木委員

### 教育委員会定例会（・臨時会）の実施

毎月1回の教育委員会定例会等を開催し、議事採択を行っています。

- 実施日：4月6日、5月11日、6月1日、7月13日、8月1日、9月3日、10月3日、11月5日、12月12日、1月9日、2月6日、2月27日、3月27日

### 平成30年度第1回総合教育会議参加（8月1日）

平成29年度における教育活動について、町長、教育長と全教育委員が様々な意見交換を行いました。

### 町立学校視察（南中：7月6日、中央小：11月20日）

町立学校を全教育委員が視察しました。

### 懇談会の実施

- 町長・副町長に全委員が平成29年度熊取町教育委員会活動の点検及び評価について報告し、懇談を行いました。（8月1日）
- 町立小学校の校長・教頭と学校の教育活動について全委員が懇談を行いました。（7月13日）
- 総務文教常任委員会委員と学校の教育活動について全委員が懇談を行いました。（11月5日）

### 泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会への参加

（全4回：5月22日、5月29日、7月11日、7月18日）

熊取町の小・中学校が平成31年度に使用する教科書の選定会議へ山本委員が出席し採択を行いました。

### 研修会への参加

- 平成30年度大阪府町村教育委員会連絡協議会定期総会及び研修会（5月30日）に山本委員、松井委員、土屋委員が出席しました。
- 平成30年度大阪府町村教育委員会連絡協議会夏季研修会（8月20日）に山本委員、松井委員、土屋委員が出席しました。
- 平成30年度泉南地区教育委員会連絡協議会（10月24日）に梶山委員、松井委員、土屋委員、鈴木委員が出席しました。
- 平成30年度市町村教育委員会研究協議会（11月22日）に松井委員が出席しました。
- 平成30年度大阪府町村教育委員会連絡協議会冬季研修会（1月29日）に松井委員、土屋委員、鈴木委員が出席しました。
- 平成30年度泉南地区教育委員研修会（3月5日）に松井委員、鈴木委員が出席しました。

### 行事への参加

- 町立学校入学式（小学校：4月6日、中学校：4月5日）への出席
  - ・中央小学校の入学式に山本委員が出席しました。
  - ・西小学校、熊取南中学校の入学式に土屋委員が出席しました。
  - ・北小学校の入学式に梶山委員が出席しました。
  - ・東小学校、熊取中学校の入学式に松井委員が出席しました。
- 小学校運動会（6月2日）、中学校体育大会（9月28日）に全委員が出席しました。
- 成人式（1月13日）に全委員が出席しました。
- 町立学校卒業式（小学校：3月18日、中学校3月13日）への出席
  - ・中央小学校の卒業式に山本委員が出席しました。
  - ・西小学校、熊取南中学校の卒業式に土屋委員が出席しました。
  - ・北小学校の卒業式に梶山委員が出席しました。
  - ・東小学校、熊取中学校の卒業式に松井委員が出席しました。

## 平成30年度教育委員会会議案件等一覧

## 《議案》

提案月	号	議案	提案結果	内容
5月	1	熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）の臨時開館日について	原案可決	熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）利用者の利便性向上及び同館の有効活用を図るため、総合体育館条例（平成8年条例第25号）第13条ただし書により、平成30年7月24日（火）、31日（火）、8月7日（火）、14日（火）、21日（火）、28日（火）を臨時に開館するもの
	2	熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）の臨時休館日について	原案可決	熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）の保守点検等のため、総合体育館条例第13条ただし書により、平成30年10月6日（土）、7日（日）、8日（月・祝）並びに12月28日（金）、平成31年1月4日（金）を臨時に休館する。
	3	平成31年度小学校使用教科用図書選択に係る泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会の設置および協議会規約等への同意について	原案可決	義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第12条、第13条第4項及び第5項の規定により平成31年度の小学校で使用する教科書採択に泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会を設置し、規約等へ同意するとともに、同協議会の採択結果を尊重するもの
	4	平成31年度小学校使用教科用図書選択に係る泉南郡小学校・中学校教科用図書採択協議会委員の選任について	原案可決	泉南郡小学校、中学校教科用図書選択協議会規約8条に基づく委員の選任について、協議し、決定するもの
	5	総合体育館等指定管理者選定委員会委員の委嘱について	原案可決	総合体育館等指定管理者選定委員会規則第3条の規定に基づく委員の委嘱について承認を求めるもの
6月	6	町議会の議決を経るべき事件の議案について	原案可決	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第3号）について※ただし、教育の事務に関する部分
	7	後援名義使用願の承認について【8月度公開例会 ウォーターパークを通じての地域国際交流】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
	8	後援名義使用願の承認について【「犬と猫と人間と」上映会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
7月	9	後援名義使用願の承認について【混声コーラスそよかぜサードコンサート】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
	10	後援名義使用願の承認について【第24回近畿中学校社会科教育研究大会大阪大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
	11	後援名義使用願の承認について【大阪“人間と性”教育研究協議会30周年総会セミナー講演会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
8月	12	平成29年度熊取町教育委員会活動の点検及び評価について	原案可決	教育委員会が平成26年度に行った活動について、自己点検・評価したもの
	13	平成31年度使用熊取町小学校・中学校教科用図書の採択について	原案可決	平成30年度に、町立小・中学校で使用する教科書を採択するもの
	14	図書館協議会委員の任命について	原案可決	図書館法第15条の規定に基づく委員を任命するもの

## 平成30年度教育委員会会議案件等一覧

## 《議案》

提案月	号	議案	提案結果	内容
9月	15	町議会の議決を経るべき事件の議案について	原案可決	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの 1. 町立小・中学校の校務用パソコンの購入について 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第6号）について※ただし、教育の事務に関する部分
	16	後援名義使用願の承認について【第72回大阪府小学校道徳教育研究会研究競技大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
	17	後援名義使用願の承認について【第7回親詩守大阪大会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
10月	18	「平成30年度 全国学力・学習状況調査 熊取町の分析結果」について	原案可決	平成30年度全国学力・学習状況調査の分析結果を「平成29年度 全国学力・学習状況調査 熊取町の結果」としてまとめるもの
	19	重要文化財中家住宅の臨時休館について	原案可決	台風21号被害により重要文化財中家住宅設置条例第3条ただし書きにより平成30年10月4日（木）から平成31年3月31日（日）までを臨時に休館するもの
	20	後援名義使用願の承認について【つながるフェス2018～こどももおとなもてえつなご～】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
11月	21	総合体育館等指定管理者の候補者の選定について	原案可決	熊取町立総合体育館等指定管理者選定委員会規則第2条に基づき、指定管理者候補者の選定について承認を求めるもの
	22	後援名義使用願の承認について【第1回保護者のための特別支援教育講演会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
	23	後援名義使用願の承認について【フレンドリーマッチ2018 大阪体育大学×武庫川女子大学】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
12月	24	熊取町運動部活動の在り方に関する方針について	原案可決	熊取町運動部活動の在り方に関する方針を定めるもの
	25	後援名義使用願の承認について【保護者のための特別支援講演会】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
1月	26	熊取町立総合体育館（ひまわりドーム）の臨時休館日について	原案可決	指定管理者変更による業務引継ぎ等のため、総合体育館条例第13条ただし書により、臨時休館日の承認を求めるもの
	27	平成31年度 全国学力・学習状況調査について	原案可決	平成31年度全国学力・学習状況調査の参加について承認を求めるもの

## 平成30年度教育委員会会議案件等一覧

## 《議案》

提案月	号	議案	提案結果	内容
2月	28	後援名義使用願の承認について【混声合唱団coroBRAVI結成20周年記念コンサート】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
	29	小・中学校管理規則の一部を改正する規則について	原案可決	熊取町立小・中学校の空調設備整備が完了し、全町立学校の空調環境が整ったことに伴い、小学校及び中学校での授業日数の確保と教育内容の充実を図ることを目的に、平成31年度から夏季休業期間を短縮するもの
	30	後援名義使用願の承認について【3月度公開例会（相撲教室）】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
3月	31	青少年問題協議会規則の一部を改正する規則について	原案可決	青少年問題協議会の委員の委嘱又は任命するものを町長から教育委員会に改めるもの
	32	町議会の議決を経るべき事件の議案について	原案可決	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの 1.平成31年度熊取町一般会計予算について※ただし、教育の事務に関する部分
3月 臨時	33	平成31年度熊取町教育方針について	原案可決	平成31年度熊取町教育方針を定めるもの
	34	熊取町部活動の在り方に関する方針について	原案可決	熊取町運動部活動の在り方に関する方針を定めるもの
	35	社会教育施設の臨時開館について	原案可決	天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律により振替休館日となるところ、臨時に開館するもの
	36	重要文化財中家住宅の臨時休館について	原案可決	台風21号による被害のため、重要文化財中家住宅設置条例第3条ただし書により臨時に休館するもの
	37	後援名義使用願の承認について【中学校・高等学校進学フェア】	原案可決	後援名義使用願の承認を求めるもの
	38	教育委員会評価委員会委員の委嘱について	原案可決	教育委員会評価委員会規則第3条の規定に基づく委員を委嘱するもの
	39	青少年問題協議会委員の委嘱及び任命について	原案可決	青少年問題協議会規則第3条第2項の規定に基づく委員を委嘱するもの
	40	平成30年度末・31年度当初小・中学校校長・教頭の異動について	原案可決	平成30年度末・31年度当初小・中学校校長・教頭の異動について承認を得るもの
41	平成31年度当初教育委員会事務局職員の異動について	原案可決	教育委員会事務局職員の異動について承認を得るもの	

平成30年度教育委員会会議案件等一覧

《報告》

報告月	号	報 告	結 果	内 容
4月	1	平成30年3月熊取町議会定例会の結果報告について	承認	平成30年3月熊取町議会定例会において審議された、教育委員会に関係のある次の事項について、可決されたことを報告するもの 1. 教育・子どもセンター条例 1. 町民会館の一部を改正する条例 1. 平成30年度熊取町一般会計予算 *ただし、教育の事務に関する部分 1. 平成29年度熊取町一般会計補正予算（第7号）*ただし、教育の事務に関する部分 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第1号）*ただし、教育の事務に関する部分
5月	2	社会教育委員委嘱の専決処分報告について	承認	社会教育法第15条第2項の規定に基づく委員を委嘱するもの
7月	3	平成30年6月熊取町議会定例会の結果報告について	承認	平成30年6月熊取町議会定例会において審議された、教育委員会に関係のある次の事項について、可決されたことを報告するもの 1. 議会の議決を要する契約について（町立中学校普通教室等空調設備の購入について） 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第3号）*ただし、教育の事務に関する部分
	4	熊取町立総合体育館等指定管理者の募集に係る専決処分報告について	承認	平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間の指定管理者について広く募集するため公告を行ったものを報告するもの
9月	5	後援名義使用願の承認について【SENSHUアートサミット～文化芸術のチカラ×まちづくりのみらい～】	承認	後援名義使用願の承認について、報告するもの
10月	6	平成30年9月熊取町議会定例会の結果報告について	承認	平成30年9月熊取町議会定例会において審議された、教育委員会に関係のある次の事項について、可決されたことを報告するもの 1. 町立小・中学校の校務用パソコンの購入について 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第6号）について*ただし、教育の事務に関する部分
	7	台風21号の被害等による社会教育施設の臨時休館の専決処分報告について	承認	台風21号の被害等により町民会館分館、熊取交流センター、重要文化財中家住宅、熊取図書館を臨時休館したことを報告するもの
11月	8	後援名義使用願の承認について【小学生の税に関する習字の展示及び表彰】	承認	後援名義使用願の承認について、報告するもの
12月	9	町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について	承認	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、町長から意見を求められた議案については、異議がないものとするもの 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第8号・第10号）について*ただし、教育の事務に関する部分
1月	10	熊取町立総合体育館等指定管理者の指定の専決処分報告について	承認	平成30年11月熊取町教育委員会定例会において選定した指定管理者候補者が、12月熊取町議会において指定管理者の指定に係る案件が可決されたことを報告するもの
3月	11	熊取町文化財保護審議会委員任命の専決処分について	承認	文化財保護審議会条例第5条第1項第2号の規定による文化財保護審議会委員の任命について、専決処分をおこなったことを報告するもの
3月 臨時	12	泉南地域図書館の相互利用に関する協定書締結の報告について	承認	泉南地域図書館の相互利用に関する協定書を締結したことを報告するもの
	13	町議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の専決処分報告について	承認	平成31年3月熊取町議会定例会において町長から意見を求められた次の事項について、専決処分をおこなったことを報告するもの 1. 工事請負契約の締結について（熊取南中学校校舎等屋根災害復旧工事） 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第12号）*ただし、教育の事務に関する部分
	14	後援名義使用願の承認について【ウェスタン大学との学術・文化交流事業】	承認	後援名義使用願の承認について、報告するもの
	15	平成30年3月熊取町議会定例会の結果報告について	承認	平成30年3月熊取町議会定例会において審議された、教育委員会に関係のある次の事項について、可決されたことを報告するもの 1. 教育・子どもセンター条例 1. 町民会館の一部を改正する条例 1. 平成30年度熊取町一般会計予算 *ただし、教育の事務に関する部分 1. 平成29年度熊取町一般会計補正予算（第7号）*ただし、教育の事務に関する部分 1. 平成30年度熊取町一般会計補正予算（第1号）*ただし、教育の事務に関する部分

## 資料編 用語説明

用語	解説
<b>【ア行】</b>	
インターンシップ	大学との連携による学生の教育現場での教職業務の観察・補助等の実習
おはなし会	熊取図書館において、毎月第2・4土曜日午後2時半から開催している5歳以上対象のおはなし(素話・ストーリーテリング)を中心とした行事
<b>【カ行】</b>	
学習支援ボランティア	児童生徒に、個に応じたきめ細やかな指導・支援をおこなうための地域の多様な人材によるボランティア。熊取町に配置している多くは、教員をめざす大学生である。
学校防犯システム	全小・中学校の校門(通用門を含む)に設置したセンサーと児童が携帯するICタグを使って、登下校の状況をパソコンで把握すると同時に、ビデオカメラによって校門の状況を常時職員室のモニターに表示し、記録するシステムである。(平成22年7月発足)
CAPプログラム	CAPとは、Child Assault Preventionの略である。子どもがあらゆる暴力(虐待、いじめ、誘拐、痴漢など)から、自分を守るために何ができるかを学ぶプログラム
教育課程	学校教育の目的や目標を達成するために教育の内容を児童生徒の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画
教育相談コーディネーター	熊取町と熊取町教育委員会が設置者となり、町民や教育関係者の相談希望者を専門のカウンセラーにつなぐ役割を担う者
郷土資料のデジタルアーカイブ化	文化芸術分野・図書館分野が保有・管理する郷土資料を電子データ化し、そのデジタル資料をインターネット等で公開・活用する。
くまとり井戸端セミナー	町職員が住民の主催する集会や学習会に出かけ、町の事業や施策について説明し、住民と町職員がともに「まち」について学ぶ制度 開催費用は無料。10名以上の団体であれば利用可
くまとり人材バンク	優れた特技や技能をもった方を登録し、自治会等の活動で講師が必要な時に派遣する制度 講師謝礼は無料。10名以上の団体であれば利用可
くまとり地域教育協議会	学校・家庭・地域がそれぞれできることを持ち寄り、三者が一体となって子どもを育てる取り組みとして、平成14年10月に中学校区単位で立ち上げ。地域の子どもは地域で育てる、という「教育コミュニティづくり」を推進する。
熊取町指定文化財	「熊取町文化財保護条例」に基づき、国の文化財保護法、大阪府文化財保護条例の規定による指定を受けた文化財以外で町内に存するもののうち、教育委員会が指定した重要な文化財のことをいう。現在、「熊取神踊り用具」の締太鼓など10件を指定している。
熊取町文化振興連絡協議会	公民館において活動するクラブの親睦と連絡調整を図り、クラブ運営の研究を深めるとともに、よりよい社会人を創造し、人間尊重の明るい町づくりを推進することを目的とした社会教育団体

用語	解説
くまとりドキドキ博物館	大阪ミュージアム構想の実現と継続的な展示物の活用を目的としたイベント 平成21年に重要文化財中家住宅において、講談や歴史講演会などを開催した。運営はくまとりドキドキ博物館実行委員会が行った。
熊取ゆうゆう大学	平成15年秋プレ開学、平成16年本開学した。様々な内容を少しずつ体験する講座の「体験倶楽部」、一つの内容をじっくり学ぶ講座の「教養倶楽部」、主体的な学びへステップアップする「ゆうゆう倶楽部」で構成する町民大学 町内大学との連携講座や、社会福祉協議会、庁内関係課との連携講座も開設
こぐまタイム	熊取図書館において、毎週土曜日午前11時から開催している2～5歳対象の絵本の読み聞かせと手遊びを楽しむ行事。
【サ行】	
指定管理者	経費の節減とサービスの向上を目的として、地方公共団体が公共施設の管理をおこなわせるために、期間を定めて指定する団体。財団、社会福祉法人等の他、民間企業も参加できる。地方自治法第244条の2第3項 指定管理者に公の施設の管理を行わせることができる。
重要文化財中家住宅	五門にある江戸初期に建てられた岸和田藩の大庄屋中家の建物。昭和39年5月29日、国指定の重要文化財となった。町所有であり、平成9年から一般公開している。
首席	各学校において校長の命を受け、担当する校務に関して教職員のリーダーとして組織を円滑に機能させるとともに、担当校務を着実に遂行していく上で、他の教職員に対して、必要な指導・総括にあたる者 また、首席は担当校務に関する事項を指導・総括し、学校運営において、(1)意思決定支援、(2)経営・調整、(3)相談支援、(4)渉外・広報、(5)人材育成の職責(機能)を担う。 学校教育法第37条第2項 主幹教諭(大阪府では首席)を置くことができる。
首長部局	首長とは、行政機関の長(知事・市町村長)をいい、首長部局は行政機関の内部組織を指す。(教育委員会は、首長から独立した行政委員会である。)
スポーツリーダーバンク	住民のスポーツやレクリエーション活動の際に必要な指導者の要請や、学校教育における運動部活動に必要な専門的技術指導者の要請などに対してスポーツ指導者の紹介・派遣をおこなう事業
【タ行】	
大活字本	弱視者や高齢者が読みやすいよう大きな活字で印刷した本
【ハ行】	
ブックスタート	図書館、健康課、熊取文庫連絡協議会が連携し、4ヵ月健診時に「子どもと、絵本を通してのふれあいとコミュニケーションの大切さ」を伝えブックスタートパック(絵本・子育て情報)を渡す事業

用語	解説
ペップトーク	「Pep Talk」とは、スポーツ選手を励ますのに指導者やリーダーが試合前(本番前)に使う「短い激励のメッセージ」のこと。「pep」とは英語で、元気、活気、活力という意味で、ペップトークは、「短くて」「わかりやすく」「肯定的な」「魂を揺さぶる」「人を勇気づける」言葉がけという特徴がある。
放課後子ども教室	本町では、「くまとり元気広場」という。放課後や週末に、子どもが安全に安心して遊べる「子どもの居場所」づくりを指す。現在、煉瓦館や長池公園等で4広場を開設し、地域の多様なボランティアの協力を得て、様々なあそびやスポーツ、野外活動、放課後学習などを実施
【マ行】	
ミドルリーダー	「学校のビジョン構築への参画と教育活動の推進」「職場の活性化」「同僚教員の指導・育成」「学校外部との折衝・対応」などの役割を担う中堅教職員
【ヤ行】	
要保護・準要保護児童生徒	生活保護を受給している世帯及びそれに準ずる世帯の児童・生徒
【ラ行】	
レファレンス	図書館で司書が行う調べ物などの相談を受ける業務

令和元年 7月17日

熊取町教育委員会 様

教育委員会評価委員会委員 幸野 信 寿  
教育委員会評価委員会委員 大野 廣 介

熊取町教育委員会活動の点検及び評価（平成30年度事業対象）  
に対する意見書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、熊取町教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うにあたり、次のとおり意見を述べる。

## 意見

熊取町教育委員会活動の点検・評価報告書の作成に際し、教育委員会事務局職員より聞き取りを行った。平成30年度においても、学校教育及び社会教育の両面で、現状と課題を見据えつつ、積極的な取組みを行うなど、現状に止まることなく課題解決に向けた新たな事務事業を適時適切に進めていることが十分に理解できたところである。

今後も、下記の点に留意し、創意工夫のもとに取り組んでいただきたい。

## 記

- 1 全体として、教育委員会が様々な取組みを進め、着実にその成果を上げていることが理解できる。なお、各点検評価項目の取組結果から、今後の課題や方向性をより一層明確化していくためにも、引き続き事業内容の精査に努められたい。
- 2 児童・生徒の教育環境については、小・中学校へのエアコン整備により大きく改善が図られたところであるが、一方で、トイレの洋式化整備も児童・生徒にとって大切であり、計画的かつ早期に整備を図られたい。

- 3 熊取町では、平成 30 年度から ALT を 1 名増員して 6 名配置とし、とりわけ、各中学校への 1 名配置は府内でも高い配置率であり、また、「くまもり英語村」の開催なども含めて、使える英語を身につけさせる取組みは大きく評価できる。今後も、ALT を活用した授業の工夫など、児童・生徒の英語力を高める取組みを進められたい。
- 4 中学生の放課後の居場所づくりと学習支援を兼ねた「中学校放課後自習室」については、煉瓦館の自習室の活用を始めるなど工夫して実施いただいている。青少年の成長の過程での有意義な取組みであるので、根気強く、さらに工夫して取り組んでいただきたい。
- 5 学校のクラブ活動など、自主活動の場では、「あいさつをする」「ルールを守る」「掃除をする」など、児童・生徒が社会の一員としての自覚と規範意識を自ずと学べる場としての活用を図っていくことも大切であると考えている。
- 6 4つの大学等が熊取町に立地するという特性を活かして、様々な事業を実施されていることは評価できる。今後も、大学等との連携・協調という枠組の中で、さらなる事業施策の構築及び積極的な展開を図られたい。
- 7 煉瓦館をはじめ、図書館、公民館・町民会館、ひまわりドームなどの社会教育施設については、それぞれの特性を活かして様々な講座や活動等を積極的に展開しており、このことは、熊取町の住みよいまちづくりに大きく寄与しており、誇れる面であると評価できる。  
今後も、より一層、幅広い世代の方々が参加しやすい環境づくりに努めるとともに、参加を促すための PR にも尽力されたい。